

ALLEN & HEATH

dLive / Avantis / SQ Series

Digital Mixing Console for Professionals



Mission to just keep doing it better

音には、人間の本質的な何かを揺さぶるものがあります。

音は響きを伴い、

迫力あるパフォーマンスや体を突き抜ける心地よいサウンドはもちろん、

何が起こってもおかしくないという緊張感や高揚感をもたらします。

そんな音の渦中であって

最も要求の厳しいライブシナリオに対応できる十分な処理能力と柔軟性を備えた

直感的かつ快適な「究極のミキシングシステム」を作ること。

これこそが、ALLEN & HEATHの設計目標です。

CONTENTS

dLive p.04

Avantis p.14

SQ p.26

ME p.30

IP p.32





XCVI Core

最新のFPGA技術を使用した36のバラレルバーチャルプロセッシングコアを採用したXCVI Coreは、コア内にある6つのバラレルミキシングエンジンによりサンプル毎に1万以上のクロスポイントを演算し、FPGA ルーターは3,000×3,000のオーディオ・バスの処理能力を装備。96kHzのサンプリングレートで多チャンネルを駆使する十分なパワーを生み出します。可変ビット深度は究極の精度とノイズ軽減を講じ、高音質と0.7msの低レイテンシーを実現しています。



dLive System

多様なアプリケーションに適したシステム

dLiveは、強力なプロセッシングと96kHzの高解像度で高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、本格的なライブや劇場でのショーに対応できるデジタル・ミキシングコンソールです。

また、シンプルなBGMや会議室から、教育施設、礼拝堂、会議場、観光施設など、あらゆる会場の音響を管理するツールを提供します。

必要なところにオーディオを提供

dLiveシステムは、オーディオが必要な場所に自由に配置することができます。ポータブルステージボックスから固定フォーマットのウォールパネルまで、様々な用途に対応したI/O拡張ユニットを用意しており、数十のオーディオポイントと数百の入出力を提供します。

各AudioRack間は最大100mのCATケーブルを使用でき、光ファイバーへの変更も可能。さらに、最大96台のリモートコントローラーをサポートしており、1つの部屋から最大規模のスペースまで、あらゆる会場に対応できます。

高度なネットワークに対応

dLiveシステムは、最大5つの128チャンネルI/Oポートを備え、業界標準プロトコル、GPIOインターフェイス、包括的なTCP/IPコントロールプロトコルを採用。Danteインテグレーション、ブロードキャストフィード、マルチトラックレコーディング、ファイバリンク、サードパーティコントロールなど、高度なオーディオネットワークに対応。時代の要求に応えるための装備を揃えています。

ユーザーフレンドリーなインターフェイス

IPリモートコントローラーは、音量調整、音楽ソースの選択、プリセットの呼び出しなど、必要な要素へのアクセスをカスタマイズできるため、技術者でなくても簡単に操作できます。

また、DirectorソフトウェアやiPadアプリを使えば、移動中でも簡単に設定にアクセスできます。(→p.18~19)



パーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。

明確でシンプルなコントロールで各パフォーマンスに最適なサウンドを提供。

dLiveシステムとの親和性も高く、セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。(→p.30)



dLive システム

S Class



Surface (→p.6)

MixRack (→p.7)

C Class



Surface (→p.8)

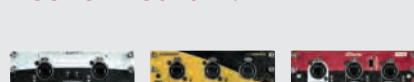
MixRack (→p.9)

必要に応じて

I/O拡張ユニット(→p.21~)



Network Card (→p.20)



状況に応じて

Personal Mixing



ME
(→p.30)

Remote Control



IP
(→p.32)

dLiveは、高い評価を得ている

XCVI 96kHz FPGAプロセッシングを採用し、
強力なプロセッシングと高音質を実現する
サウンド・マネジメントシステムです。



MixRack / Surface

DEEP Processing / Dyn8 / RackExtra FX

XCVI Coreの強力なプロセッシング能力により、数多くの音響効果を可能にするエフェクターやダイナミクスを内蔵しています。(→p.10)



優れた耐久性

dLive S Classのコントロール・サーフェスとミックスラックは、ハードなツアリングにも対応できるよう軽量化のバランスを考慮しながらも耐久性高く設計されています。

システム全体のオーディオ接続にリダンダントが可能。複雑で厳しい条件の現場にもエレガントに対応します。また、ホットスワップ可能なPSU設計を採用しており、予備電源の装備も可能です。



Harmony User Interface

dLiveのサーフェスには、12インチの静電容量式タッチスクリーンを採用しています。ピンチ、スワイプ、ドラッグ&ドロップに素早く反応し、直感的な操作が可能。エンジニアがミキシングに集中できるツールとなっています。

スクリーンを補完するのがロータリーコントロールで、スクリーンに表示される視覚的なフィードバックと調和しながら、ミキシングを創造性と即時性を持って触覚でコントロールできます。

ハイグリップ・ロータリーノブは正確なコントロールを可能にし、機能に応じて色がマッピングされたRGBイルミネーションを採用して視認性を高めています。また屋外など明るい場所でも高い視認性を維持します。



分かりやすいワークフロー

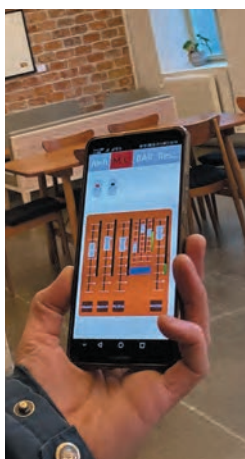
dLiveのサーフェスは、用途やエンジニアの感性に応じたカスタマイズが可能です。シーンやメーター、FXなどを管理するための独自の「ウィジェット」エリアを設置することもでき、作業効率が格段に向上します。

全入力とミックスはすべてのバンクやレイヤーにアサインできるほか、入力とミックスチャンネルは名前の設定や色分けが可能です。26個のソフトキーも用意しています。



■便利なアプリケーションソフトウェア (→p.18~19)

dLive Director
dLive Mix Pad
dLive One Mix
MIDI Control
Custom Control



各デバイスに対応

■便利な機能

dLive Shure Integration
dLive SENNHEISER Integration



ワイヤレス・マイクロホンシステムの
モニターおよびコントロールが可能。
(→p.7)

dLive S Class

Surface

ALLEN & HEATHデジタル・ミキシングコンソールのフラッグシップモデル。
快適なコントロールでミキシングに集中できる直感的なコントロールサーフェス。



S7000

オープンブライス

視認性と操作性を両立

- 2画面、36フェーダー、26ソフトキー
- 216のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 1325×413×728mm、質量 : 約41kg

※MixRackに接続して使用

Option DL-S7FC:フライトケース
AP10037:ダストカバー
MPS16:予備電源



S5000

オープンブライス

視認性とコンパクトさを追求

- 2画面、28フェーダー、26ソフトキー
- 168のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 1115×413×728mm、質量 : 約35kg

※MixRackに接続して使用

Option DL-S5FC:フライトケース
AP10036:ダストカバー
MPS16:予備電源



S3000

オープンブライス

省スペースかつパワフル

- 1画面、20フェーダー、26ソフトキー
- 120のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 870×413×728mm、質量 : 約28kg

※MixRackに接続して使用

Option DL-S3FC:フライトケース
AP10035:ダストカバー
MPS16:予備電源

Surface共通性能

- 操作性に優れたユーザーインターフェース:Harmony UI
12インチタッチスクリーン
ピンチやスワイプ、ドラッグアンドドロップに対応
専用のマルチモードEQ画面
シーンやメーター、FXなどを構成可能なウィジットエリア
3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- アサイン可能な26個のソフトキー
- エンジニアのモニター/IEMフェーダーストリップ
- マルチポイントメーター
- 日中でも優れた視認性を維持
- USBステレオレコーディング/プレイバック

- マイク/ライン入力(XLR)×8、ライン出力(XLR)×8
- デジタルAES3入力×2、デジタルAES3出力×3
- HUB
リダントを構成するMixRackへのGigaACEギガビットリンク
リダントを構成する I/O拡張ユニット用DXリンク
オプションI/O用ポート×2 — 128ch 96kHz
ネットワークポート×2
ワードクロックBNC I/O
VGA×1 (外部ディスプレイ)
- PSU×1 (予備電源はオプション)

MixRack

強力なプロセッシングと高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、リダンダント機能を施したフラッグシップdLive Sクラス用エンジン。



DM64

オープンブライズ

アナログI/Oを多く備えたモデル

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップや

iPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
寸法(W×H×D):482.6×458×313mm、10U、質量:約21kg

Option DL-DM64-FC:フライトケース
MPS16:予備電源



DM48

オープンブライズ

省スペースとアナログI/O数を確保

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップや

iPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
寸法(W×H×D):482.6×369×313mm、8U、質量:約17.5kg

Option DL-DM64-FC:フライトケース
MPS16:予備電源



DM32

オープンブライズ

アナログI/Oを抑えたコンパクトモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×325×313mm、7U、質量:約15kg

Option DL-DM32-FC:フライトケース
MPS16:予備電源



DM0

オープンブライズ

4Uの最もコンパクトなサイズ

- アナログI/Oなし
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- XCVI Coreの強力なプロセッシングと高音質を最もコンパクトなサイズに集約
- オーディオディストリビューションが必要な状況やデジタルスプリットに最適。

寸法(W×H×D):482.6×176×355mm、4U、質量:約12kg

Option なし

MixRack共通性能

- XCVI 160×64 FPGA core
サンプリングレート96kHz
可変型ビット深度
96ビットアク્યムレーターによる事実上無限のミックスヘッドルーム
0.7msの極めて低いレイテンシー
- フルプロセッシング可能な128個の入力チャンネル
- フルプロセッシング可能な64個のミックス出力
- 64バス設定可能(グループ・FX・AUX・マトリクス・メイン)
LR、LCR、最大5.1メインモード
マルチPFL
- 専用のステレオリターンを備えたRackExtra FX×16
- DCA (Digitally Controlled Amplifier)×24
- ゾーン1、2、4で最大64チャンネルのオートマチック・マイク・ミキシング機能(→p.10)
- シグナルジェネレーターとRTAを内蔵

- 安定したパフォーマンスを実現する独自のアクティブPAD回路
- HUB
リダンダントを構成するサーフェスへのgigaACEギガビットリンク
リダンダントを構成するI/O拡張ユニット用リダンダントDXリンク
オプションI/O用ポート×3 — 各128ch 96kHz
ME-1専用48kHzポート
ネットワークポート×2
ワードクロックBNC I/O
- DX HubモジュールまたはDX Linkカード経由で最大46個のDX I/O拡張ユニットを接続可能
- PSU×1(予備電源MPS16はオプション)
- ヘッドホン出力×1
- 超静音ファン付きフラッシュフロントパネル
- 前後どちらにも取付可能なラックイヤーデザイン

dLive Shure Integration

dLive SENNHEISER Integration

ShureやSENNHEISERのワイヤレス・マイクロホンシステムのトランスミッターのバッテリー残量、RF信号強度、レシーバーのオーディオ信号レベルをモニターしたり、レシーバーのゲインやミュートをコントロールできます。

また、接続されたレシーバーを自動的に検出するため、オペレーターは手間をかけずにセットアップを行えます。



対応するShure
ワイヤレス・マイクロホンシステム

- ・QLX-D
- ・ULX-D
- ・Axient Digital



SENNHEISER

対応するSENNHEISER
ワイヤレス・マイクロホンシステム

- ・300 (G3/G4)
- ・2000
- ・500 (G3/G4)
- ・2050

dLive C Class

Surface

S Classと同等のエンジンパワーをコンパクトなポータブルフォーマットで実現。
スペースファクターの厳しい現場には、期待を裏切らないスマートチョイス。



C3500

オープンブライス

Cクラスで唯一2画面搭載

- 2画面、24フェーダー、19ソフトキー
 - 144のアサインابل・フェーダーストリップ
 - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 885×325×665mm、質量: 約28kg
※MixRackに接続して使用

Option AP10833:ダストカバー



C2500

オープンブライス

操作性に妥協しないパワフルモデル

- 1画面、20フェーダー、19ソフトキー
 - 120のアサインابل・フェーダーストリップ
 - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 775×325×665mm、質量: 約24.5kg
※MixRackに接続して使用

Option AP10832:ダストカバー



C1500

オープンブライス

優れた機動性を発揮するコンパクトモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
 - 72のアサインابل・フェーダーストリップ
 - MixRackの収まるラックの上に収まるサイズで、優れた機動性を発揮
- 寸法 (W×H×D): 485×325×665mm、質量: 約18kg
※MixRackに接続して使用

Option DL-DLC15-RK19:ラックマウントキット
AP10831:ダストカバー



Surface共通性能

- 操作性に優れたユーザーインターフェイス: Harmony UI
12インチタッチスクリーン
ピンチやスワイプ、ドラッグアンドドロップに対応
専用のマルチモードEQ画面
シーンやメーター、FXなどを構成可能なウィジットエリア
- アサイン可能な19個のソフトキー
- エンジニアのモニター/IEMフェーダーストリップ
- マルチポイントメーター
- 日中でも優れた視認性を維持
- USBステレオレコーディング/プレイバック

- マイク/ライン入力 (XLR) ×6、ライン出力 (XLR) ×6
- デジタルステレオAES3入力×1、デジタルステレオAES3出力×1
- HUB
MixRackへのgigaACEギガビットリンク
I/O拡張用DXリンク
オプションI/O用ポートー128ch 96kHz
ネットワークポート×2
ワードクロックBNC I/O
VGA×1 (外部ディスプレイ)
PSU×1



CTi1500

オープンブライズ

C1500に耐久性と軽量・コンパクト化を加えたモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
- 本体わずか11.5kg
- 軽量で耐久性に優れたチタン製のサイドパネルを採用
- そのほかの部分も、強度を保ちながら徹底的に軽量化を実現
- フロントパネルはC1500と同サイズ
- アームレストは滑らかなスチールカーブに置き換え
- 寸法 (W×H×D): 440×337×644mm、質量: 約11.5kg
- ※ Mix Rackに接続して使用

Option なし

MixRack

XCVI Coreを搭載したdLive Cクラス用エンジン
PSUの設計を簡易化しリダンダントを省略。予算に応じたセットアップが可能。



CDM64

オープンブライズ

多くのアナログI/Oが必要な現場に最適

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA

- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法 (W×H×D): 481.6×354.5×309mm、8U、質量: 約13.5kg

Option なし



CDM48

オープンブライズ

設置状況の制約がありながらもI/Oを必要とする現場に最適

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24

- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法 (W×H×D): 481.6×310×309mm、7U、質量: 約12kg

Option なし



CDM32

オープンブライズ

アナログI/Oを少なくし、物理的サイズを抑えたモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法 (W×H×D): 481.6×221×309mm、5U、質量: 約10kg

Option なし

MixRack共通性能

- XCVI 160×64 FPGA core
サンプリングレート96kHz
可変型ビット深度
96ビットアキュムレーターによる無限のミックスヘッドルーム
0.7msの極めて低いレイテンシー
- フルプロセッシング可能な128個の入力チャンネル
- フルプロセッシング可能な64個のミックス出力
- 64バス設定可能 (グループ・FX・AUX・マトリクス・メイン)
LR、LCR、最大5.1メインモード
マルチPFL
- 専用のステレオリターンを備えたRackExtra FX×16
- DCA (Digitally Controlled Amplifier) ×24
- ゾーン1、2、4で最大64チャンネルのオートマッチ・マイク・ミキシング機能 (→p.10)
- シグナルジェネレーターとRTAを内蔵
- 新型プリアンプを搭載
- 安定したパフォーマンスを実現する独自のアクティブPAD回路
- HUB
サーフェスへのgigaAOEギガビットリンク
I/O拡張ユニット用DXリンク
オプションI/O用ポート 各128ch 96kHz
ME-1専用48kHzポート
ネットワークポート×2
ワードクロックBNC I/O
- DX HubモジュールまたはDX Linkカード経由で最大22個のDX I/O拡張ユニットを接続可能
- PSU×1
- ヘッドホン出力×1
- 超静音ファン付きフラッシュフロントパネル
- 前後どちらにも取付可能なラックイヤーデザイン

World-Class Processing & FX

DEEP Processing

DEEPプロセッシング・アーキテクチャーにより、オーディオニュアンスをノンリニアで捉える高性能コンプレッサーやクラシックなサウンドを届けるプリアンプなどの、優れたプラグインを幅広くそろえています。

グラフィックEQ、コンプレッサー、64チャンネルのオートマチック・マイクミキサーなどの独自アルゴリズムの数々は、FXスロットのリソースを使用することなく、外部プラグインのセットアップやレイテンシー、ライセンスなどの手間をかけずに、必要に応じてチャンネルインサートできます。

ファームウェアのアップデート時に随時追加されており、使いやすさも都度向上しています。

●コンプレッサー

BUS / Peak Limiter 76 / OptTronik / 16T / 16VU / Mighty / Opto

●エキスパンダー

Source Expander / Dual Threshold Expander

●プリアンプ

Dual Stage Valve / Tube Stage

●EQ(PEQ/GEQ)

NEQ12 / Constant-Q / Proportional-Q / Digi-Q / Hybrid



●オートマチック・マイクミキサー(AMM)

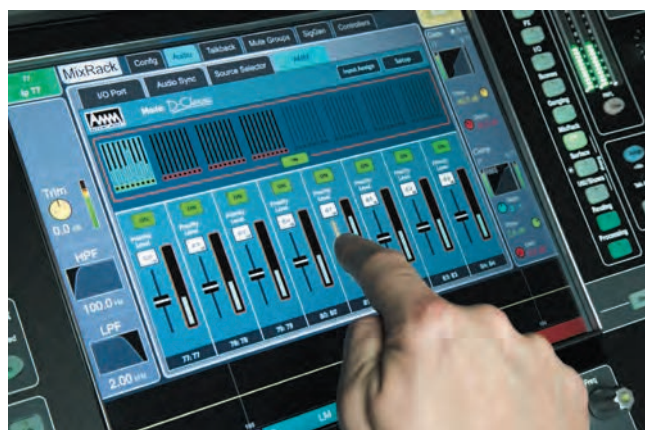
会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンで、最大64のマイクの音量を自動的に制御します。ハウリングのリスクを軽減するだけでなく、マルチマイクを使用した場面で一般的な問題となるチャンネル間の位相干渉を最小限に抑制します。

■ひとつのインターフェースから最大4つのゾーンを同時に制御。

- 1ゾーン:最大64のマイク
- 2ゾーン:最大32のマイク
- 4ゾーン:最大16のマイク

■動作モードは下記の2種類です。

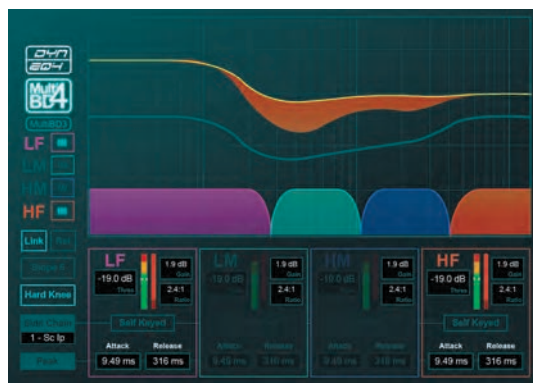
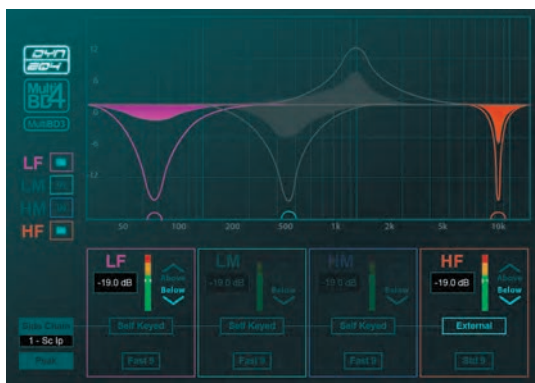
- D-Class:ダイナミックゲイン・シェアリングを採用し、素早く簡単にセットアップ可能
- NOM:ロジックベースのオートマチック・ミキシング・アルゴリズムに基づいており、柔軟性の高いシステムを提供。



Dyn8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを搭載した、パワフルで洗練されたプロセッサーです。ボーカルの調整、ドラムキットの修正、マスタリング、ミックスの引き締め、グルー感の追加など、多彩な用途で使用できます。

64個ものDyn8エンジンが用意されており、入力チャンネルやミックスチャンネルに挿入でき、自動でアサインされるので、パッチングのストレスがありません。



RackExtra FX

XCVI CoreのパワーによりFPGA内に強力なDSPカーネルを構築し、リバーブやディレイ、モジュレーターアルゴリズムのライブラリーをdLiveに統合することができます。

専用のステレオリターンを備えた16のFXスロットを利用可能です。



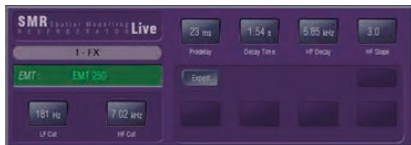
Transient Controller



De-Esser



Hypabass



SMR Live



Gated Reverb



2 Tap Delay



Bucket Brigade



Stereo Tap Delay



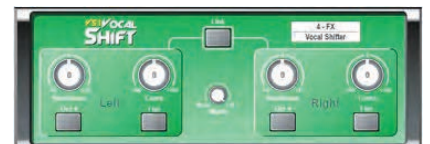
Echo



ADT Doubler



Pitchdoubler



VS1 Vocal Shift



Chorus



Symphonic Chorus



Dimension Chorus



Electric Flange



12 Stage Phaser



Rotator



Dynamic EQ



MultiBD3



MultiBD4

Connecting to dLive

S Class Surface

S7000、S5000、S3000のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はS3000

※I/Oポート4にWaves3カード、I/Oポート5にDante128カードが挿入されています。

拡大



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードgigaACE (M-DL-GACE) (p.20) をご使用ください。

最大288×288ch:DX/GX 接続

DX 5	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
DX 6	DX 5のリダント専用	—
I/O Port 4	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
I/O Port 5	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

S Class MixRack

S ClassのMixRackは、アナログI/O端子の数が異なるだけで、I/Oポートやネットワーク端子の数は同じです。



※画像はDM64

I/O Port1~3 拡大



最大448×448ch:DX/GX 接続

DX 1	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
DX 2	DX1のリダント専用	—
DX 3	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
DX 4	DX3のリダント専用	—
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
I/O Port 2	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)
I/O Port 3	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)

本体のgigaACEポートは、Surfaceとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードgigaACE (M-DL-GACE) (p.20) をご使用ください。

C Class Surface

C3500、C2500、C1500、CTi1500のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はC3500

I/O Port

拡大



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワークカードgigaACE (M-DL-GACE) (p.20) をご使用ください。

最大160×160ch:DX/GX 接続

DX 5	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
I/O Port 4	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) C ClassのハードウェアでDXをリダンダント化するには、DX HubまたはDX Linkオプションを使用します。

C Class MixRack

C ClassのMixRackは、アナログI/O端子の数が異なるだけで、I/Oポートやネットワーク端子の数は同じです。



※画像はCDM64

I/O Port

拡大



本体のgigaACEポートは、Surfaceとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワークカードgigaACE (M-DL-GACE) (p.20) をご使用ください。

最大192×192ch:DX/GX 接続

DX 1	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
DX 3	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) C ClassのハードウェアでDXをリダンダント化するには、DX HubまたはDX Linkオプションを使用します。

avantis



圧倒的なコストパフォーマンス。
高級感を纏い、高性能を凝縮させたオールインワンモデル。

Avantis

オープンブライズ

XCVI Core

- Allen & Heathが次世代のFPGA技術を使って開発。
- コア内のエンジンによりAvantisのパワーを生み出し、96kHzのサンプリングレートでFXリターンを含む88×42のチャンネル処理が可能。
- XCVIの強力なパワーにより、64のフルプロセッシング入力と12のステレオFXリターン、設定可能な42のミックスバス、究極の精度とノイズ・パフォーマンスのための可変ビット深度、96ビットのアク્યムレータによる事実上無限のミックス・ヘッドルーム、そして0.7msの超低レイテンシーを実現。

パーソナル・ミキシングを簡単にアドオン

Avantisは、パーソナル・モニタリング・システムと完全な互換性があります。ME-1 (40チャンネル) とME-500 (16チャンネル) は、各パフォーマンスの手段で最適なサウンドを提供します。(→p.30)



リモートコントロールも可能

IPシリーズのリモート・コントローラーは、標準的なTCP/IPネットワーク接続を介してAvantisと接続し、標準的なイーサネットを使用してライブ・サウンドの一部を担ったり、固定設備でのコントロールの可能性を広げます。(→p.32)



オートマチック・マイクミキサー (AMM)

最大64のマイクの音量を自動的に制御し、ハウリングのリスクを軽減。会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンに。

1、2、4のゾーンで最大64chを使用可能
1ゾーン:最大64
2ゾーン:最大32
4ゾーン:最大16

CONTINUITY UIによる優れた操作性

- 1080pのフルHD解像度で動作する206平方インチの巨大なスクリーンスペース。より多くの重要な情報を見て瞬時に操作することができ、フィジカルコントロールとディスプレイをシームレスに繋げます。
- フェーダーはタッチすると反応し、アクティブなチャンネルがすぐにハイライトされ、視覚的なフィードバックを得られます。
- チャンネルローテリでは、ゲインやパンを操作した後、ボタンに触れるだけでディスプレイをダイナミックに折りたたんで、バンク全体のEQやコンプレッサーのパラメーターを表示できます。
- 各画面の右側にはFastGrabタブがあり、現在選択されているチャンネルや特定のチャンネルのAuxセンド、EQ、コンプレッサー、FXなど、自由に割り当て可能な主要パラメーターに瞬時にアクセスできます。

ProFactory Presets

- 主要なマイクメーカー5社 (Audio-Technica、Audix、sE Electronics、Sennheiser、Shure) の業界標準マイクのEQライブラリプリセットを提供。



フルメタルシャーシ

- これまでにないほどの厳しいテストをすべてクリアしたパーツを採用。
- 滑らかな曲線をメタルで作成。
- 性能と信頼性を追求して設計され、かつてないほどの強靭さと軽量化を実現。



- 96kHz、64チャンネル/42バス
- 超低レイテンシー (0.7ms) を実現したXCVI Core搭載
- 設定可能なミックスバス構成
- 2つの15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーンを搭載
- 12×RackExtra FXスロット (専用ステレオリターン付き)
- 16×DCA (Digitally Controlled Amplifier)
- ユーザーが設定可能なロータリーコントロール
- 24×アサインابلソフトキー

- フルアサイン可能なレイアウト
- 144本のフェーダーストリップ (24本のフェーダー、6つのレイヤー)、右端4本は設定でマスターフェーダーへ設定可能
- SLinkポート、12XLR入力/12XLR出力、1AES入力/2AES出力、2つのI/Oポート (96kHz、128×128)、BNCワードクロック搭載
- ステレオ再生/録音用の内蔵ストレージ、USBステレオ再生
- 寸法 (W×H×D): 917×269×627mm、質量: 約26kg。

Upgrade to dPack (有償オプション)



Avantisに搭載された強力なプロセッシング・ツールでほとんどの要求に対応できますが、dLiveで使用されているプロセッシングを導入することで、表現力をさらに向上できます。

dPACK - DEEP

※dPackに含まれています。

DEEPは、プラチナセラーのアーティストのツアーで使用されている、優れたプラグインです。

信じられないようなエミュレーションを、Avantisの入力チャンネルとミックスチャンネルにゼロレイテンシーで直接入れることができます。

FXスロットのリソースやサードパーティの機材を使用することなく、レイテンシーや位相の整合性の問題もありません。

- ▶ DEEP Compressors
 - ▷ Peak Limiter 76
 - ▷ OptTronik ▷ 16T
 - ▷ 16VU ▷ Mighty ▷ Opto
- ▶ DEEP Preamp
 - ▷ Dual Stage Valve



dPACK - DYN8

※dPackに含まれています。

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを備えたパワフルで洗練されたプロセッサです。

dPackでは、16台のDyn8エンジンを入力チャンネルやミックスチャンネルにインサートすることができます。

サブグループをタイトにしたり、ボーカルの調整やミックスへのグルー感の追加など、様々な用途に使用できます。

- ▶ 16×Dyn8 instances



Avantis Free Pack

(無償オプション)

無償のオプションとして、Graphic EQ3モデルとTube Stage Preampが追加できます。

▼DEEP GEQ

DEEP GEQは、28バンドの精密なグラフィックイコライザーで、+/-12dBのブーストとカットが可能。メインのLRミックスとすべてのAUX、グループ、MTXに対応しています。

- ▷ Proportional Q ▷ Digi-EQ ▷ Hybrid



▼DEEP Preamp

dLiveのバルブ・プリアンプ・モデル「Dual Stage」のエンジンを利用しており、6つのプリセットとシンプルなコントロール・セットにより、非常に繊細な色付けからハーモニックなオーバードライブまで、本物のチューブ・キャラクターを素早く設定することができます。

- ▷ Tube Stage



RackExtra FX 12個の専用FXラック。

Allen & Heathは、こだわりに近い情熱を持って、定評あるアウトボード機器にインスパイアされた一連のFXを作成。1チャンネルに12個のスロットのうち1つだけを使用します。12個のFXスロットはそれぞれ専用のステレオリターンを備えているため、入力チャンネルを無駄にしません。

- | | | |
|------------------------|--------------------|-----------------------|
| ▶ SMR Reverb | ▶ Gated Verb | ▶ Flanger |
| ▶ Stereo Tap Delay | ▶ ADT Doubler | ▶ MOO 12 Stage Phaser |
| ▶ Bucket Brigade Delay | ▶ Chorus | ▶ De-Esser |
| ▶ Echo | ▶ Symphonic Chorus | ▶ Dimension Chorus |

※dPackを購入すると、以下のFXも追加されます。

- ▶ Transient Controller
- ▶ Hypabass



●オプション

AVANT-BRKT

オープンブライス

Avantis MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。タッチスクリーンでのコントロールと視認性の向上に最適。



AP12151

オープンブライス

ダストカバー。&とAvantisロゴが印象的。



●便利な

アプリケーションソフトを用意

- ・Avantis Directorソフトウェア (→p.18)
- ・Custom Controlアプリ (→p.18)
- ・MixPadアプリ (→p.19)
- ・OneMixアプリ (→p.19)

Connecting to Avantis

Avantis



I/O Port



拡大

最大384×384ch:DX/GX接続

SLink	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
	DX Hub	(128×128)
	GX4816	(128×128)
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)
I/O Port 2	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) I/OポートのgigaACEと本体のSLinkを使用してリダントを組むことはできません。

I/O拡張ユニットとのリダント dLive / Avantis

DXポートを使用してリダントを組む時の一例

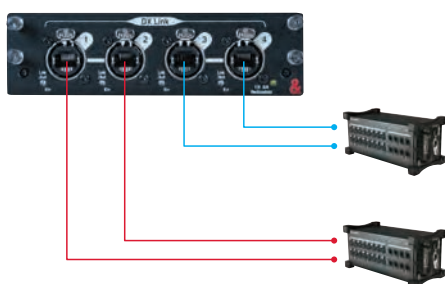
すべてのDXラックは、2本のケーブルを使用して接続するリダントモード (32×32) を備えています。

dLive S Class

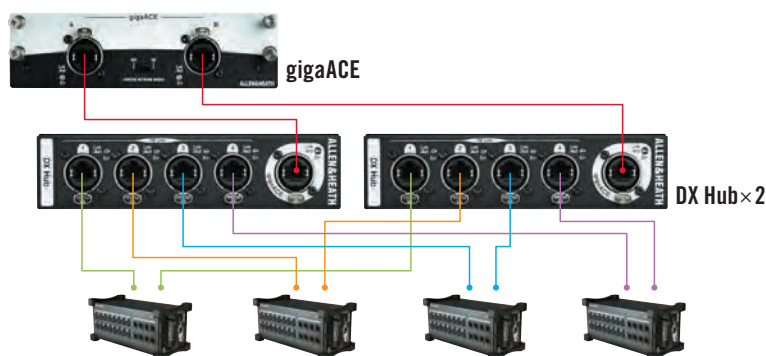


I/OポートにDX LinkやgigaACEを組み込みリダントを組む時の一例

DX Link



gigaACE & DX Hub



ALLEN & HEATH独自の AoE (Audio over Ethernet) プロトコル

ALLEN & HEATHが独自に開発したAoEプロトコルは、デジタル・ミキシングシステムとI/O拡張ユニット間をシームレスに動作するように設計されており、デジチーチェーン型とスター型の両方のトポロジーを利用して、柔軟な音声分配とI/O機器の配置を可能にしています。

各接続は最大100m、光ファイバーを使用すればそれ以上の長さも可能で、小規模な会場から大規模なキャンパスまで、あらゆる規模のアプリケーションに対応できます。

各プロトコルの制御には、応答性の高いレイヤー2プロトコルを使用しており、高速な接続と即時の動作を実現しています。オーディオと同時に制御データも送信。拡張ユニットの接続時に適用され、ファームウェアのマッチングも自動で行われます。gigaACEでは1000BASE-T (ギガビットイーサネット)、GX、DX、dSNAKEでは100BASE-TX (ファストイーサネット) です。

SLink とは？



SLinkは、gigaACE、GX、DX、MEでの接続に対応したマルチプロトコルポートで、接続されたものに依りて自動的にモードを切り替えるインテリジェントなポートです。

接続された機器を感知し、それに依りてモード、ビットレート、チャンネル数、サンプルレートを自動で切り替えます。また、デジタルスプリット用途やDXハブとの接続などにも対応しています。

gigaACE



gigaACEは、ギガビット・イーサネットをベースに、96kHz、24bitで128×128チャンネルを提供するプラグアンドプレイシステムです。dLive SクラスのMixRackとサーフェス、およびオプションの「gigaACE」カードの使用時には、2つのリンクは常に稼働しており、どちらかのリンクにエラーが発生した場合やリンクが完全に失われた場合でも、音声や制御情報の損失はなく、シームレスなリダンダント化を実現します。

制御メッセージに加えて、一般的なTCP/IPデータを双方向にブリッジングまたは「トンネリング」することができます。これにより、ネットワーク接続されたアンプやワイヤレスレシーバー、DMX over Ethernetなど、システム内に組み込まれた他のネットワーク対応機器の制御メッセージを、1本のケーブルで接続するだけで伝送できます。

※gigaACEプロトコルは、GX / DX / SLinkの各ポートと接続可能。この場合、96kHzで128×128チャンネルを伝送します。レイヤー2のプリアンプコントロールと自動ファームウェアマッチングは提供しますが、イーサネットトンネリングはありません。

GX



GXプロトコルのポートは、96kHzで128×128チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。

DX



DXプロトコルの各ポートは、96kHzで32×32チャンネルと制御データを伝送。接続時にDX拡張ユニットに設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。ペアでシームレスにリダンダント化するリダンダントモードと最大2台のDX拡張ユニットをデジチーチェーン接続できるカスケードモードのいずれかで動作。

ME/dSnake



MEおよびdSnakeプロトコルは、48kHzでそれぞれ0×40および40×40チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。各ME接続は、デジチーチェーン接続やME-UまたはPoEハブを介して、無制限の数のMEデバイスを接続できます。

	gigaACE (to gigaACE)	gigaACE (to DX Hub, GX または to/from SLink)	DX	ME dSnake
イーサネット	1000Base-T (Gigabit Ethernet)		100Base-TX (Fast Ethernet)	
サンプリングレート	96kHz			48kHz
チャンネル数	128* *dLive Surface とMixRack のリンクは300×300 ch以上	128	32	40
トンネリング	✓	—	—	—
リダンダンシー	✓	—	✓	—
ファームウェア自動マッチング	—	✓	✓	✓
レイテンシー	5samples (52us)	5samples (52us)	8samples (83us)	4samples (83us)
ケーブル長	<100m			

Software dLive / Avantis

Director

システム構築ソフトウェア

ノートPCやタッチタブレットを使って、ルーティング、I/Oパッチ、Surfaceレイアウト、シーンの設定、バスコンフィグの設定、ネットワークの設定などのシステム構築を可能にします。

※MacとWindows OS (Windows Surface Proを含む) に対応。

for dLive

for Avantis



ALLEN & HEATHのウェブサイトから無料でダウンロードできます。



オフライン

dLive Director/Avantis Directorのオフラインモードでは、エンジニアが移動中にシステムの設定を行える最適なツールです。飛行機やツアーバス、オフィスなど、本番前にシステムの設定ができます。ゲストエンジニアから送られてきたShowファイルを編集してからUSBキーに移し、会場でコンソールに読み込むこともできます。また、操作方法を網羅した便利なトレーニングツールでもあり、初めてdLive SurfaceやAvantisを手にしたときにも、自信を持ってミキシングを始められます。

オンライン

オンラインモードでは、コンソールの完全なリモートコントロールを可能にします。エンジニアはミックス・ポジションから解放され、会場のどこからでも変更を行うことができます。また、異なる作業を同時に行うことができるので、あるエンジニアがSurfaceでFOHのサウンドチェックを行い、別のエンジニアがステージ上でラップトップやタブレットを使ってモニターミックスのダイヤル操作を行うことも可能です。

dLiveサーフェイスレス ミキシング

dLiveはdLive DirectorをインストールしたラップトップとdLive MixRackで、従来のコントロールサーフェスを排除した究極のミキシングシステムを構築できます。

フェーダーレスでラップトップやタブレットからミックスしたり、IP8リモコン (→p.32) を追加してキーミックスをハンズオンでコントロールできます。

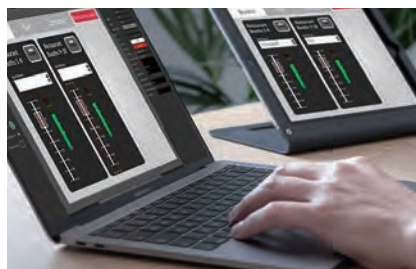


Custom Control

教育施設、多目的ホール、商業施設など、設備会場の複雑なオーディオを管理・コントロール

会場を使用するユーザーのレベルやデバイスに合わせてアプリを設計し、複数のインターフェースを提供できます。

※iOS / Android / Windows / Macに対応。



マルチユーザーインターフェース

例えば、バーテンダーにはシンプルな携帯電話のインターフェースを提供し、AVオペレーターはタブレットでレベルとルーティングにアクセスし、ラップトップではより包括的なコントロールを行うことができます。Custom Controlアプリを実行しているデバイスは、指定されたユーザー・プロファイルでシステムにログインことができ、ユーザーをパスワードで保護して、セキュリティを強化することもできます。



フルカスタマイズ

すべてのレベル、ミュート、センドへのアクセスに加え、プリセットの呼び出し、ソースの選択、メーターの表示が可能です。タブを設定することで、複数のコントロールページやゾーンに簡単にアクセスできます。コントロールデザインライブラリが用意されており、会場に合わせてカスタムグラフィックを追加することも可能で、設定が完了したら、Avantis.dLiveのMixRackにアップロードして、すぐに使用できます。



CC-7 & CC-10

カスタムコントロール用タッチパネル

近日発売予定

CC-7とCC-10は、デスクトップまたはウォールマウント用のコントロール・タッチパネルです。Custom Controlアプリが搭載されており、シンプルな音楽ソースの選択から、レベルコントロール、プリセットの呼び出し、ページングまで、タッチスクリーン・インターフェースを好むアプリケーションには、IPリモート・コントローラー (→p.32) の代わりとなる製品です。

以下のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

Director



Custom Control



CC-7&CC-10 App for Android



Mix Pad

エンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール



for dLive

for Avantis



App Storeから無料でダウンロードできます。

iPadでワイヤレスミックス

MixPadは、ミキシングやプロセッシングをコントロールするエンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール。客席やステージを自由に歩き回り、必要な場所からサウンドをコントロールすることができます。

MixPadとdLive Surface/Avantisを連動させることで、それぞれの機能を同時にコントロールすることができます。

例えば、ひとりのエンジニアがSurfaceを使ってFOHのサウンドをミックスし、もうひとりのエンジニアがiPadを使ってステージモニターをミックスすることができます。

また、複数のiPadを接続し、それぞれを独立してコントロールすることも可能です。

コントロール可能な機能

- フェーダーレベル、ミュート、パン
- AuxとFXのセンド、ルーティング、Pre/Postの切り替え
- FXタップテンポ、グローバルタップテンポ
- マトリックスセンド、ルーティング、プリ/ポストの切り替え
- DCAマスターとアサイン
- プリアンプのゲイン、パッド、48V
- トリムとポラリティ
- HPF、ゲート、PEQ、GEQ、コンプ、ディレイ
- RTA機能
- チャンネル名とカラー
- PAFLセレクト
- フルシグナルメーター
- チャンネルレイアウトを自由に変更できるカスタムストリップ

One Mix

パーソナル・ミキシング・アプリ



for dLive

for Avantis



App Storeから無料でダウンロードできます。

OneMixは、dLiveとAvantisのパーソナル・ミキシング・アプリです。管理者がWi-FiでdLiveやAvantisに接続して複数のiPadをセットアップ。他のモニターやFOHのミックスに影響を与えることなく各ミュージシャンにカスタマイズされたパーソナル・モニターを提供できます。また、演奏者も自分のモニター・ミックスを自分の好みに調整できます。

コントロール可能な機能

- ユーザーとしてログオンすることで、個別のコントロールが可能。
モニター(Aux)のマスターレベルとミュート
モニターマスターのPEQ、GEQ、Comp
モニターへのセンドレベルとステレオパン
センドミュート、ゲート、PEQ、GEQ、Comp
- 管理者としてログオンすることで、カスタムセットアップが可能。
ユーザーを識別するためのOneMixセッション名の設定
Aux(モニター)ミックスの選択
My Mix レイヤーと最大3つのカスタムレイヤーの割り当て
センドの割り当てー入力、FXリターン、グループ
DCAマスターのアサイン
各レイヤーに名前を付ける
レイヤーごとのプロセッシングやミュートの有効化/無効化 など

MIDI Control

PC上のDAWソフトウェアをコントロール



Mac OSまたはWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、それをミキサーに接続します。

- HUIやMackie ControlのプロトコルをエミュレートすることでMac OSやWindows上のDAWソフトウェアをコントロール。また、MIDIプロトコルに基づいてミキサーをコントロールすることも可能。
- デジタルミキサーのコアと直接MIDIメッセージを送受信し、ミキシングパラメータやシーンチェンジなどの機能をリモートコントロールできます。
- 標準的なCCメッセージを使用して、最も一般的なミキサーパラメーターをコントロールし、自動化できます。



ALLEN & HEATHのウェブサイトから無料でダウンロードできます。

<https://www.allen-heath.com/midi-control/>

Networking Card dLive / Avantis

dLiveやAvantisのI/Oポートに挿入し、ネットワークを構築するオプションカード。
オーディオのリダントや必要な場所へIOの増設など、使用目的に応じて選択できるカードを多数用意しています。

ALLEN & HEATH Prietary AoE Protocol



gigaACE(M-DL-GACE) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 5サンプル(52us)の超低トランスポートレイテンシー
- デュアルリダントダンシー
- 切り替え可能なコントロールネットワークブリッジ



fibreACE(M-DL-GOPT) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 3つの動作モード
 - ▷ Copper - CAT5e以上
 - ▷ Fibre - Neutrik OpticalCon Duoマルチモード
 - ▷ Convert - dLive MixRackとSurface間のリンクを光ファイバーに変換
- 5サンプル(52us)の超低遅延伝送
- デュアルリダントダンシー
- 切り替え可能な制御ネットワークブリッジ



DX Link(M-DL-DXLINK) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 4つのDXリンクポート
- ロック機能付きetherCONコネクタ
- DX32、DX168、DX164に対応
- 最大128入力、128出力
- リダントまたはパラレル接続モード
- 96kHzサンプルレート

Standard format



WAVES3 (M-DL-WAVES3) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力
- サンプルレート切替、48/96kHz
- Waves SoundGridネットワークプラグイン・プロセッシング、オーディオ・ディストリビューション、デジタル・マイク・スプリットなど
- マルチトラックの録音と再生
- 複数のデバイスを接続できる統合3ポートEthernetスイッチ
- Waves V2およびV3カードとの入力共有



SuperMADI (M-DL-SMADI-A) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 8×BNC (4リンク)
- 8×SFPスロット* (モジュールは含まず)
- リンクごとにサンプルレートを切り替え可能 48/96kHz
- ペアごとに切り替え可能なリダントダンシー smux / High-Speed
- 128 I/O (コアキシャル/オプティカル)、96kHz
- 96kHzモードはSmuxまたはHighSpeedのいずれかを選択可能

*マルチモードまたはシングルモードのLCを使用可能



AES3 (M-DL-AES2180-A) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 2in 8out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



AES3 (M-DL-AES4160-A) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 4in 6out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



AES3 (M-DL-AES6140-A) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 6in 4out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



AES3 (M-DL-AES100-A) オープンブライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 10out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



Audio Interface (M-DL-ADAPT)

オープンブライス

オーディオインターフェース

- M-Dante、M-Waves、M-ES-V2、M-ACE、M-MADIなど、iLive / GLDで使用されていたネットワークカードを搭載できるインターフェース。
- 48kHzで動作する64×64チャンネルのインターフェイス。サンプルレートはインターフェースモジュール内でシームレスに変換。

※写真はM-Danteオーディオネットワークカード装着時

I/O Expander



入出力数を増やしたり、離れた場所で入出力が必要となった場合など様々なシチュエーションに対応できるI/O拡張ユニット群。充実したラインナップで、最適なシステムを簡単に構成することができます。シリーズをまたぐシステムでも使用できます。



拡大

GX4816 5U

オープンブライズ

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 48マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、16ライン出力、96kHz、1PSU、3RJ45（GXポート、DXポート A / B）
- 1つのシステムに複数のGX4816を追加可能。
 - ▷ dLive Sクラス:最大5台
 - ▷ dLive C Class:最大3台
 - ▷ Avantis:最大3台
 - ▷ SQ:最大2台
- ラックマウント（5U）可能
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力:最大90W
- ▶ GX: gigaACE I/Oモジュール / SLink（Avantis/SQ）（128×128）
 DX 1: DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012（32×32）
 DX 2: DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012（32×32）
 または
 DX 2: ME パーソナルモニタリングシステム（0×40）
 ※dLiveに接続している場合、機能しない



※画像は、リダンダント電源とオプションのI/Oモジュールを装着しています。

DX32 4U

オープンブライズ

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 4入出力カードスロット、96kHz、1PSU（ホットスワップ可能、リダンダント電源はオプション:MPS16）
- 1つのシステムに複数のDX32を追加可能。
 - ▷ dLive Sクラス:最大46台
 - ▷ dLive C Class:最大22台
 - ▷ Avantis:最大16台
 - ▷ SQ:最大16台
- 2本のケーブルを使用してリダンダント接続が可能。
- ラックマウント（4U）可能。床置きとして使用する場合のプラスチック製の足も付属。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力:最大300W
- ▶ DX A: dLive Surface / MixRack、DX Hub、DX Link card、SLink
 リダンダントを組む場合、
 DX A,B: dLive S Class Surface / MixRack、DX Hub（×2） / DX Link card

▶ DX32用I/Oモジュール

高音質
32bit



PRIME Input

オープンブライズ

8入力、32bit/96kHz ADCコンバーター搭載

M-AIN

オープンブライズ

8マイク/ライン入力。ゲイン、パッド、48Vファンタム電源はプリアンプによるデジタルコントロール。

M-DIN

オープンブライズ

4×ステレオAES3入力。サンプリングレート: 32-192kHz、96kHzではバイパス。

高音質
32bit



PRIME Output

オープンブライズ

8出力、32bit/96kHz DACコンバーター搭載

M-AOUT

オープンブライズ

8ライン出力、バランスXLRコネクタ。電源のOn/Off時のノイズを防止。

M-DOUT

オープンブライズ

4×ステレオAES3出力。XLRコネクタ（96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替）

I/O Expander



DX012 1U

オープンブライズ

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 12出力 (切替: 12アナログ、8アナログ+4AES3、4アナログ+8AES3)、1PSU、2RJ45 (DXポート A/B)
- AES3出力周波数切替 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。dLive S ClassやDX Link cardなどの互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX012またはDX164-Wのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジジチェーン接続によるI/O

- の追加が可能。
 - カスケードモードは、各DXポートに最大2台のDXエキスパンダーをデジジチェーン接続可能。
 - ラックイヤーは前面、背面どちらにも取り付け可能。※出荷時は、前面に取付。
 - AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W
- Option DX012-RK:ラックマウント金具



DX168

オープンブライズ

移動型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、8ライン出力、96kHz、1PSU、2RJ45 (DXポート A/B)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX012またはDX164-Wのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジジチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。

- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能 (4U)。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

Option AB1608-RK19:ラックマウントキット
AP9932:キャリーバッグ



AB1608-RK



DX164-W

オープンブライズ

設置型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、4ライン出力、96kHz、2PSU、2RJ45 (DXポート A/B)、DC入力 (3A、12V)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX012またはDX164-Wのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジジチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※カスタムブラケットが必要。
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源としても使用可能。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W



DX Hub

オープンブライズ

拡張HUB

- RJ45 (4DX Linkポート、1gigaACEポート)、AC電源
- 各DX Linkポートには最大2台のDXエキスパンダーを接続可能。
- dLiveシステムで使用する際は、複数のDX HUBを使用することで、さらなる拡張や

- リダンダントが可能。
 - AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大5W
- Option FULLU-RK19:ラックマウントキット



CAT5e/CAT6ケーブル

ALLEN & HEATHが推奨するプロフェッショナルグレードのCAT5e/CAT6 Etherflexケーブル。用途に合わせて長さを選ぶことができ、すべてNeutrik EtherConロッキングコネクタ付きです。



- AH9997 2m CAT5eケーブル (STP、NEUTRIK etherCON)
- AH10884 20m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON)
- AH10885 50m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)
- AH10886 80m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)
- AH10887 100m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)

オプティカルケーブル

AH10924

150m オプティカルケーブル (マルチモード、NEUTRIK opticalCON Duo、ドラム付き)



AvantisやSQシリーズで使用可能なI/O拡張ユニット。※dLiveでの使用不可。

AR2412 3U オープンブライズ



ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 24マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、12ライン出力、48kHz、1PSU、3RJ45（うち1つはdSNAKEポート）
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。
- ME-1パーソナルミキサーに接続するモニターポートと、AR84やAB168にデジチーチェーン接続するエキスパンダーポートも搭載。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大70W

※dLiveシステムでは使用不可。



AB168 オープンブライズ

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、8ライン出力、48kHz、1PSU、2RJ45（うち1つはdSNAKEポート）
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。また、ME-1パーソナルミキサーに接続して40chを提供。
- AR2412やAR84へのデジチーチェーン接続も可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。

- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能（4U）。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大40W

※dLiveシステムでは使用不可。
Option AB1608-RK19: ラックマウントキット
AP9932: キャリーバッグ



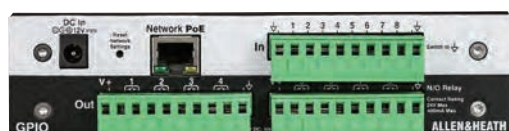
AR84 1U オープンブライズ

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、4ライン出力、48kHz、1PSU、1RJ45（dSNAKEポート）
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。また、ME-1パーソナルミキサーに接続して40chを提供。

- AR2412やAB168にデジチーチェーン接続も可能。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大20W

※dLiveシステムでは使用不可。



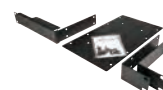
GPIO

オープンブライズ

リモートコントロール用の汎用I/Oインターフェース

- フェニックス・コネクタによる8つの光絶縁入力と8つの常開（N/O）リレー出力。うち1つはノーマルクローズ出力（N/C）に設定可能。
- 2つの+10V DC出力（最大500mA）を装備。PoE（IEEE 802.3af-2003）対応。
- 最大8個のGPIOモジュールをCat5ケーブルでdLiveシステムに直接または100Mb/sネットワークスイッチを介して接続。
- GPIOの機能は、dLive / Avantis Directorソフトウェア（PC/Mac）またはdLive SurfaceやAvantisを使ってプログラム可能。EVAC（アラーム/システムミュート）、放送（オンエアライト、フェーダースタートロジック）、シアターオートメーション（カーテン、ライト）など、さまざまな用途に対応。
- オプションのラックマウント金具で、19インチラック（1U/1/2幅）に設置可能。

Option FULLU-RK19: ラックマウントキット



Dante ネットワーク対応製品

Networking card

dLiveやAvantisをDanteネットワークに接続するためのネットワークカード。
64×64と128×128を用意。



Dante 64x64(M-DL-DANT64)

Dante

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 64chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)の双方向通信が可能



Dante 128x128(M-DL-DANT128)

Dante

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 128chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)の双方向通信が可能

※SQ SeriesでDanteネットワークに接続する場合は、SQ Dante V2 (→p.27) を使用してください。

共通スペック

- リダンダンシーまたはスイッチオペレーションのためのプライマリおよびセカンダリオーディオポート
- コントロール・ネットワークの設定を行うための専用ポート
- dLive/Avantisコントロール・ネットワークとDanteコントロール・ネットワークをブリッジするネットワーク・ブリッジ・スイッチを内蔵
- Dante Virtual Soundcardによるマルチトラックレコーディング
▷48kHzで64チャンネル
▷96kHzで32チャンネル
- AES67対応
- DDM (Dante Domain Manager) 対応
- dLive Sクラス: 最大5台のDante接続
dLive Cクラス: 最大2台のDante接続
- プラグアンドプレイ対応
- 既製のネットワークハードウェアを使用可能

I/O Expander

Danteネットワークに対応するI/O拡張ラック。
移動型と設置型の2種を用意。



DT168

オープンブライズ

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、8ライン出力、96kHz/48kHz、1PSU、2RJ45 (Danteポート Primary / Secondary)
- ラバーバンパーとハンドルが付いた持ち運びに便利なモデル。
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デジチェーン接続やリダンダントが可能。
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

Option AB1608-RK19: ラックマウントキット
AP9932: キャリーバッグ



DT164-W

オープンブライズ

設置型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、4ライン出力、96kHz、1PSU、2RJ45 (Danteポート Primary / Secondary)、DC入力 (3A, 12V)
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デジチェーン接続やリダンダントが可能
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※カスタムブラケットが必要
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源として使用可・AES67対応
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

DT Preamp Control ソフトウェア

複数のDTユニットのリモートコントロールが可能となり、Danteを搭載したサードパーティ製デジタルミキサーやサウンドマネジメントシステムとDTエクスパンダーの使用が可能となります。



- DT168およびDT164-Wのリモートコントロール
- プリアンプゲイン、+48V、パッドのコントロール
- DT I/O拡張ユニットのファームウェア・アップデートを含む
- ネットワークインターフェースの選択
- 最大16台のDT機器の制御

I/O Interface

Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍。コンパクトなサイズなので、テーブルや演台の下に設置してローカルマイクを接続したり、ステージ上やFOHで必要な場所にラックマウントしたりすることができます。

DT02

Dante
出力インターフェース



DT02

※近日発売予定

- Dante出力インターフェース、48kHz / 96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option

DT-SMK : サーフェスマウント用のラックマウントイヤー
DT-RK19 : ラックマウントキット

DT02-M

※近日発売予定

- 固定設備用Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源 (外部電源なし)
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント用のラックマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19 : ラックマウントキット

DT20

Dante
入力インターフェース



DT20

※近日発売予定

- Dante入力インターフェース、48kHz / 96kHz
- 2×コンピのマイク/ライン入力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option

DT-SMK : サーフェスマウント用のラックマウントイヤー
DT-RK19 : ラックマウントキット

DT20-M

※近日発売予定

- 固定設備用Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×コンピのマイク/ライン入力
- PoE電源 (外部電源なし)
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント用のラックマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19 : ラックマウントキット

DT22

Dante
入出力インターフェース



DT22

※近日発売予定

- Dante 入出力インターフェース、48kHz / 96kHz
- ユーロブロック・コネクタ、2入力×2出力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option

DT-SMK : サーフェスマウント用のラックマウントイヤー
DT-RK19 : ラックマウントキット

DT22-M

※近日発売予定

- 固定設備用Dante 入出力インターフェース、48kHz/96kHz
- ユーロブロック・コネクタ、2入力×2出力
- PoE電源 (外部電源なし)
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント用のラックマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19 : ラックマウントキット

●共通オプション



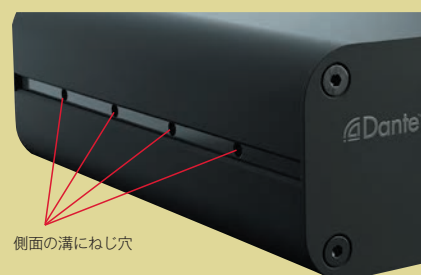
※画像はDT02を2台使用

DT-RK19 : ラックマウントキット

2台までのDTxxを1Uのスペースにラックマウントする金具一式

「M」モデルについて

DT02-M、DT20-M、DT22-Mは、外部電源のない固定設備用モデルです。側面の溝にサーフェスマウント用のラックマウント金具を取り付けるねじ穴が付いています。



側面の溝にねじ穴

「M」モデルには、サーフェスマウント用のラックマウント金具 (DT-SMK) が付属。耳の部分を上も下にも付けられるようになっています。



※画像はDT02-Mを使用

※「M」のない通常モデルDT02、DT20、DT22をサーフェスマウントするときは、オプションの「DT-SMK」を使用します。

SQ

48ch、36バス
96kHz、XCVI Core採用
フェーダー数とローカルI/O数の異なる3モデル



SQ-7

オープンプライス

- フェーダーストリップ:192 (32フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:32マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:32+トークバック
- 出力:16ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:8
- 寸法 (W×H×D):804×198×514.9mm、質量:約17.8kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を最大2台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
AP11334:ダストカバー



SQ-6

オープンプライス

- フェーダーストリップ:144 (24フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:24マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:24+トークバック
- 出力:14ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:4
- 寸法 (W×H×D):638×198×514.9mm、質量:約14.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
AP11333:ダストカバー



SQ-5

オープンプライス

- フェーダーストリップ:96 (16フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:16マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:16+トークバック
- 出力:12ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:8
- 寸法 (W×H×D):440×198×514.9mm、質量:約10.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。
- オプション金具を使用して標準的な19インチラックにマウント可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
SQ-5-RK19:ラックマウント金具 (→p.29)
AP11332:ダストカバー

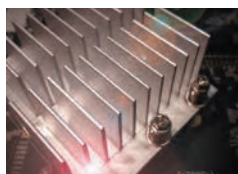
共通性能

- 96kHz、48チャンネル/36バス
- 超低レイテンシー(0.7ms)を実現したXCVI Core搭載
- 各入力チャンネルに、プリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイ付き
- 12ステレオミックス+LR、3ステレオマトリックス
- 8ステレオFXエンジン(専用リターンチャンネル付き)

- マルチチャンネルUSBストリーミングおよびUSBドライブへのダイレクトレコーディング
- トークバックマイク入力、フットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール
- オプションで、dLiveで使用されているDEEP ProcessingやRackExtra FXの中の数々のコンプレッサー、イコライザー、プリアンプなどの使用が可能。

XCVI Core搭載

最新の96kHz FPGA XCVIコアを搭載。原音に忠実な高解像度のオーディオをクラス最高レベルの0.7ms未満のレイテンシーで提供するSQ Seriesは、コンパクトなデジタルミキサーの新しい基準となります。



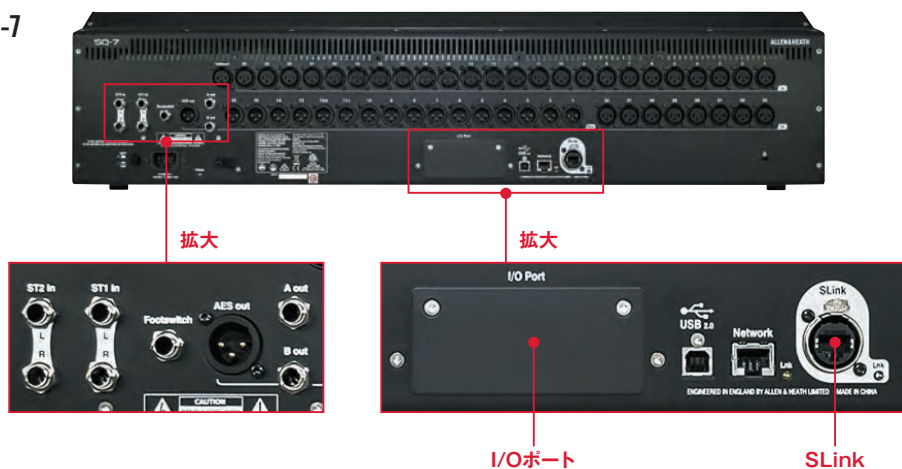
シンプルかつ優れた操作性

- 視認性に優れ、直感的なコントロールを可能とした7インチ・タッチスクリーン搭載。
- 各ストリップには、特許取得済みのクロマチック・チャンネルメータリングシステムを搭載。明るさと色に変化するLEDにより抜群の視認性を獲得。
- チャンネルとミックスは任意のストリップにドラッグ&ドロップでき、カラーストリップにカスタム名とカラーコーディングの表示が可能。



Connecting to SQ Series

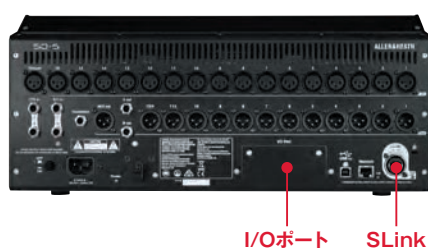
SQ-7



SQ-6



SQ-5



最大256×256ch:DX/GX接続

SLink	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
	DX Hub	(128×128)
	GX4816	(128×128)
I/O Port	SLink I/O Module→DX32	(32×32)
	SLink I/O Module→2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
	SLink I/O Module→DX Hub	(128×128)
	SLink I/O Module→GX4816	(128×128)

※DX32を接続するためには、SQ SeriesのファームウェアV1.4 以上が必要です。

※I/O拡張ユニットは、p.21～を参照してください。

Networking Card



SQ Dante V2

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。
※SQ-Dante V1は、SQ Series以外は使用不可。



SQ SLink

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。



SQ Waves

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。



SQ MADI

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がベアになっているため、スプリットまたはリダンダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

Processing & FX

●パワフルプロセッシング

- 各チャンネルに、HPF、サイドチェーンとフィルターを備えた超高速ゲート、サウンドに躍動感を生み出す4バンドパラメトリックイコライザー、RMSコンプレッサーを装備。
- ミックスには、パラメトリック・イコライザー、28バンドのグラフィック・イコライザー、コンプレッサーを装備。



●ワールドクラスのFX

8つのステレオFXエンジンを搭載しており、定評のあるRackExtraライブラリも完備。各エンジンには専用のステレオ・リターンが用意されているので、48の入力チャンネルを無駄にしません。

- ▶ Spatial Modelling Reverb (SMR)
- ▶ Stereo Tap Delay
- ▶ ADT Doubler
- ▶ Chorus
- ▶ Symphonic Chorus
- ▶ Flanger
- ▶ MOO 12 Stage Phaser
- ▶ Gated Verb

●アドオン・プラグイン (有償)

数々のワールドツアーで国際的なアーティストに使用され、数々の受賞歴のあるdLiveのDEEPプロセッシングがSQで使用可能になりました。また、RackExtra FXにもアイテムを増やすことができます。

DEEP Compressors

Peak Limiter 76



ブラックフェイスもあり

16T



16VU



Mighty



Opto



DEEP Preamps

Tube Stage Pre

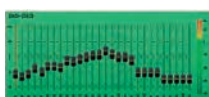


DEEP GEQs

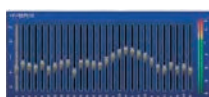
Proportional Q



DiGi-Q



Hybrid



Constant-Q



RackExtra FX-Tools

MultiBD Compressor 4



MultiBD Compressor 3



RackExtra FX-Tools

DynEQ4



De-Esser



RackExtra FX-Effects

Echo



Hypabass



Bucket Brigade



for PROFESSIONAL Performance

●AMM (Automatic Mic Mixer)

AMMは、スピーチを主とする会議、パネルディスカッション、劇場、放送など、多数のマイクを使用する状況で、マイクチャンネルのレベルを自動的にコントロールする機能です。

SQ SeriesのAMMは、D-Classicゲイン・シェアリング・アルゴリズムを使用して、アクティブなチャンネルのレベルを上げると同時に、割り当てられた他のチャンネルのレベルを下げます。また、特定のマイクを他のマイクよりも優先させるプライオリティレベルの設定も可能です。

最大24チャンネルのAMMを2つ搭載しています。2つのゾーンに24チャンネルずつ使用したり、大規模イベントでは1つのゾーンに48チャンネルを使用できます。



●ProFactory Presets

主要なマイクメーカー5社 (Audio-Technica、Audix、sE Electronics、Sennheiser、Shure) の業界標準マイクのEQライブラリプリセットを提供。



●パーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。明確でシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。(→p.30)



●IEMミキサーとして

12×ステレオミックス、超低レイテンシー、すべてのミックスにパラメトリックとグラフィックの両方のEQを搭載。インイヤーマニターのセットアップに最適です。



●マルチトラックUSBレコーダー「SQ-Drive」を内蔵

- 32×32/96kHzオーディオインターフェースにより、マルチトラックレコーディング、バックリックス再生、ライブストリーミング、バーチャルサウンドチェックが可能。

※16チャンネル@96kHz、32チャンネル@48kHz

※SQ-Driveのオーディオレコーディングおよびマルチトラック再生は、高い持続転送レートをサポートするUSBストレージデバイスである必要があります。一般的なUSBキーマモリは、BGMでの簡易的な再生には便利ですが、ほとんどの場合長時間の録音などで安定した持続性を得られません。

- インターフェイスはMac OS Xのクラスに準拠。Logic、Cubase、Reaper、ProToolsなどのCoreAudioをサポートするDAWで認識され、プラグアンドプレイが可能。WindowsではASIO™とWDMに対応したドライバーを用意。
- 無償のMIDI Controlアプリを使用して、一般的なDAWのフェーダーにマッピング可能。



MIDI Controlアプリ (無償)

MIDI Controlは、Mac OSやWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、それをミキサーに接続することで動作。
(→p.25)



SQ APP



SQ MixPad

ミキシング機能のオンラインコントロールやオフラインでの編集が可能。

- オンラインモードでは、主なミキシング機能を有線または無線でコントロールできます。エンジニアは異なるリスニングポジションからのミキシングが可能になり、ステージからのモニターミックスの設定、あるいはローカルコントロールを追加できます。
- オフラインモードでは、シーンやショーの保存・管理、ストリップアサインやチャンネルリストの編集、USBデバイスへのファイル転送 (PCとMacのみ)、ミキサーとの間でショーを直接プッシュ/プルできます。

※iOS、Android、Windows、MacOSの各プラットフォームで利用可能。



SQ4You

SQシリーズのパーソナル・ミキシング・アプリ。

- 最大8人のパフォーマーが自分のモニター・ミックスをAndroidまたはiOSデバイスからコントロールできます。
- 12のモノラルまたはステレオミックスから選択
- コントロールするソースの割り当て (チャンネル、FXリターン、グループ)
- チャンネルの番号、名前、メーターの表示
- ミックスのマスターレベル、ミュート、PEQ、GEQ、コンプレッサーのコントロール
- ミックスセンドのレベルとパンのコントロール など



※接続可能なSQリモートアプリの最大数は8で、SQ-MixPadは最大2つです。例えば、SQ-MixPadを2つ、SQ4Youを6つ、またはSQ-MixPadのインスタンスを1つ、SQ4Youのインスタンスを7つ接続することができます。

●オプション

SQ-BRACKET

SQの後部にSQ MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。タッチスクリーンでのコントロールと視認性の向上に最適。スチール製。



ダストカバー

ポリエステル製のフィット感のある黒の撥水性ダストカバー (スクリーン印刷によるロゴ入り)。

AP11334:SQ-7
AP11333:SQ-6
AP11332:SQ-5



SQ-5-RK19

SQ-5用ラックマウントキット。標準的な19インチラックにマウント可能。



Personal Monitoring System

ME PERSONAL MIXING SYSTEM

明確なビジュアルフィードバックによるシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。セットアップを迅速化し、サウンドチェックを円滑に行えます。

ME-1

オープンブライス



40chパーソナルミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた40の入力
- 調光可能な有機ELスクリーンと16×バックライト付きアサインابلキー
- コンソールのバスを使用せずにME-1内でグループ化が可能
- レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。
- プリセットはUSBに保存して、任意のME-1ユニットで呼び出すことも可能。
- すべてのチャンネルとグループにカスタムネームを表示。コンソールに接続するとコンソール側から自動的に取得。
- マスター3バンドEQとリミッターを搭載
- MP3プレーヤー、クリックトラックなどのAUX入力を装備
- アンビエントマイク、シグナルジェネレーター搭載
- ヘッドホン出力 (TRS, ミニ)
- マイクスタンドブラケット、ヘッドホンハンガー付属
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用



仕様

- 周波数特性: 10Hz~20kHz (+0/-1dB)
- AD/DA変換: 24bit, 48kHz
- 残留出力ノイズ: -95dBu
- ヘッドホン出力: 300mW+300mW@100Ω 負荷, 最大: +21dBu
- モノ出力: 平均0dBu / 最大+18dBu
- Aux入力: 平均-8dBu / 最大+10dBu / インピーダンス>10kΩ
- PoEまたはPoE+給電: 15.4W (PoE/802.3af), 25.5W (PoE+/802.3at)
- ※音楽ソース
- PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)
- 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
- 寸法・質量: W230×H160×D70mm, 1.1kg

ME-500

オープンブライス



16chパーソナルミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた16モノラル/16ステレオ入力
- マスター2バンドEQとリミッターを搭載
- ミキサーからアサインされた最初の16個のモノラル/ステレオチャンネル、およびミックスは、16個のセレクトキーに自動的に割り当て
- 8ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存でき、他のME-500へ簡単に転送可能。
- ヘッドホン出力 (TRS, ミニ)
- ソロ、ミュートキー
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用
- マイクスタンドブラケットとヘッドホンハンガーは別売りです。

Option
AB8999: マイクスタンドブラケット
AA8705: ヘッドホンハンガー

仕様

- 周波数特性: 10Hz~20kHz (+0/-1dB)
- AD/DA変換: 24bit, 48kHz
- 残留出力ノイズ: -95dBu
- ヘッドホン出力: 300mW+300mW@100Ω 負荷, 最大: +21dBu
- PoEまたはPoE+給電: 15.4W (PoE/802.3af), 25.5W (PoE+/802.3at)
- ※音楽ソース
- PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)
- 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
- 寸法・質量: W230×H160×D70mm, 1.1kg

ME-1とME-500 どちらを選ぶ？

似たような外見のME-1とME-500ですが、ユーザーやシチュエーションにより使い方が異なります。

チャンネル数が多くリハーサル時間が十分にあるショー、専属のアーティストが常駐する結婚式場や多目的ホールでは、ME-1を使用することで、エンジニアは各アーティストの好みやニーズを完璧に反映させて各ユニットを構成できます。

フェスティバルなどエンジニアとアーティストのサウンドチェックの時間が限られている場合、または予算が限られている場合やチャンネル数が少ない場合には、ME500がお勧めです。最小限の手間でショーを立ち上げることができます。





ME-U

オープンブライズ

パラレル接続用10ポートPoEモニターハブ

- ロッキング機能付きEtherconコネクタを10ポート搭載
- 各ポートからME-1またはME-500に電源と音声を供給。
ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。
- 2つのハブをリンクしてポートを増設
- ツーリンググレードの高品質
- ラックマウント可能 (2U)
- 接続されたME-1は、SQやdLiveのミキサーからチャンネル名を自動的にピックアップ
- ユニット名とIPアドレスをブラウザで設定し、チャンネル名を手動で入力可能
- オプションカードを使用することで、他社のデジタルコンソールとの接続も可能

仕様

- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 250W
- 動作気温範囲: 5°C-35°C
- PoE性能: 15W (各ソケット)
- 寸法・質量: W483×H253×D92mm, 4.6kg

● Option Card



M-MADI2-A

ME-U用MADIインターフェイスカード。48kHz対応。64MADI、2MADI I/O (BNC)、1BNCコネクタ (AUX BNC)。



M-DANTE

ME-U用DANTEインターフェイスカード。64×64入出力、48kHz対応、RJ45ポート (Control Network、DANTE Primary / Secondary)。



MOD-DMI-ME



DiGiCo社ミキサー用MEカード。DMIスロット装備のDiGiCoミキサーにMOD-DMI-MEカードを挿入するとMEシステムが使用できます。

● 接続例

ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用しない場合

ME-1とME-500は、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSnake、Monitorの各ポートに直接接続可能。

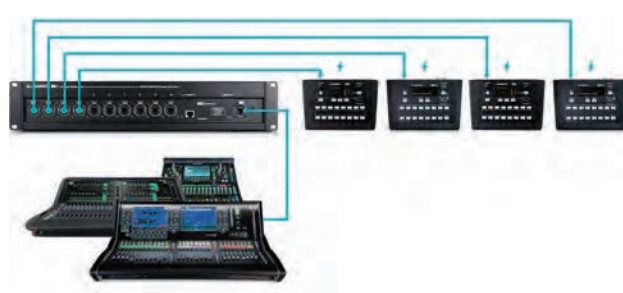
複数のME-1およびME-500をデジーチェーン接続可能です。

※各ユニットに外部電源が必要。



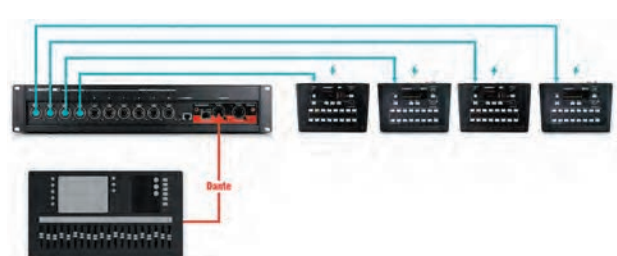
ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用した場合

ME-Uは、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSnake、Monitorの各ポートに直接接続できます。ME-Uに直接接続されたME-1およびME-500には、PoE経由で電源が供給され、ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。10ポート以上が必要な場合は、複数のME-Uハブをデジーチェーン接続できます。



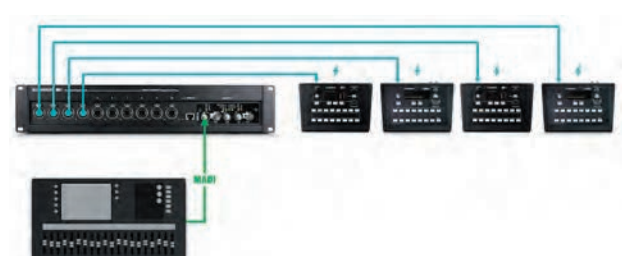
ME-Uに「M-DANTE」カードを使用した場合

Dante接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



ME-Uに「M-MADI2-A」カードを使用した場合

MADI接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



Remote Control

IP Seriesのリモートコントローラーは、標準的なTCP/IPネットワークを介してdLive/Avantisミキシングシステムと接続。他のコントローラーやコンピューター、サードパーティのデバイスにもイーサネットを使用してネットワークを簡単に構築できます。コントロールと機能は、サーフェスまたはPC/Mac用のDirectorソフトウェアを使ってプログラムします。



IP1-EU-White
IP1-EU-Black

IP1-US-White
IP1-US-Black

IP1

オープンブライズ

小型かつシンプルなウォールプレート。
技術者でないユーザーにも便利で
簡単なコントロールを提供します。

- 音楽ソースの選択、レベルコントロール、またはプリセットの呼び出し
 - プッシュ&ターン式ロータリーとLCDディスプレイを搭載
 - TCP/IP、PoE対応
 - US (Decora) とEUの2つのバリエーション、ブラックとホワイト
- ※フェイスプレートは付属しません

仕様

- ネットワーク: Fast Ethernet 100MBps
- PoEまたはPoE+給電: 15.4W (PoE/802.3af)、30W (PoE+/802.3at) ※音楽ソース
- 消費電力: 2.5W
- 寸法 (W×H×D)・質量:
IP1-EU 50×50×32mm、70g
IP1-US 45×106×25mm、100g

IP6

オープンブライズ

6個のプッシュ・アンド・ターン式
ロータリーエンコーダ

- ワイヤレスのIEMやパーソナル・モニタリングシステムとしても使用可能
- 6レイヤー
- PoEまたは外部12V電源

Option AB8999: マイクスタンドブラケット
AA8705: ヘッドホンハンガー

仕様

- ネットワーク: Fast Ethernet 100MBps
- PoE給電: 15.4W (802.3af) ※音楽ソース
- 外部DC電源: +12V、360mA
- 消費電力: 5W
- 寸法 (W×H×D)・質量: 227×55×150mm、1.5kg

IP8

オープンブライズ

8本のモーターライズドフェーダーを搭載。
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの
ミキシングシステムとして、ハンズオンコントロールを可能にします。

- 8モーターライズドフェーダー
- 6レイヤー
- PoE+または外部12V PSU
- 台座や家具に取り付けて使用することもできます。

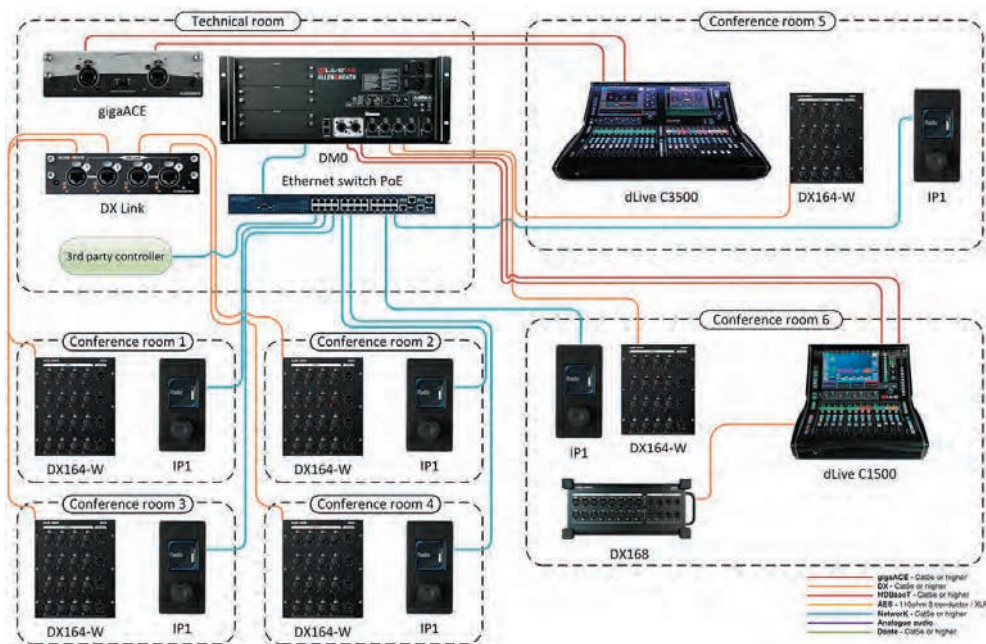
Option IP8-MOUNT: マウントキット

仕様

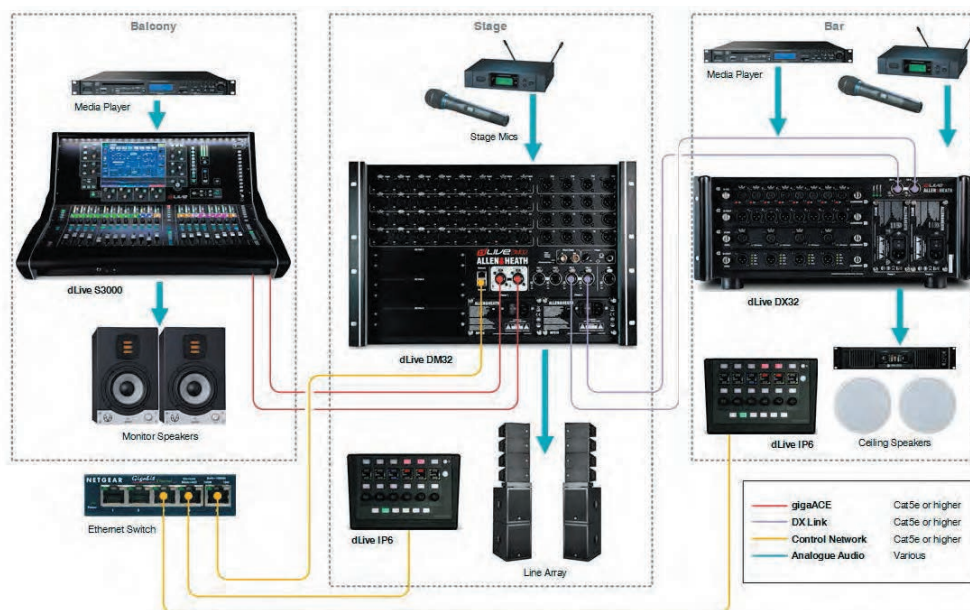
- ネットワーク: Fast Ethernet 100MBps
- PoE+給電: 25.5W (802.3at) ※音楽ソース
- 外部DC電源: +12V、2.1A
- 消費電力: 25W
- 寸法 (W×H×D)・質量: 291×61×205mm、2.5kg

IP Series使用例

IP1 設置例



IP6 設置例



サーフェスレス・ミキシング
IP8, dLive DirectorとMixRack



Avantisの追加フェーダーとしてIP8を使用



dLive S Class

			dLive S7000	dLive S5000	dLive S3000	dLive-DM64	dLive-DM48	dLive-DM32	dLive-DM0
入出力性能	フェーダー数		36	28	20	－			
	ディスプレイ数		2	2	1	－			
	入力チャンネル		－	－	－	128			
	バス		－	－	－	64 (グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)			
	内蔵エフェクター		－	－	－	16			
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	8 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)			64	48	32	－
					(バランスXLR、+48Vファンタム電源)				
		入力感度	－60 ～ +15dBu			－60 ～ +15dBu			－
		アナログゲイン	+5 ～ +60dB、1dBステップ			+5 ～ +60dB、1dBステップ			－
		パッド	－20dB アクティブパッド			－20dB アクティブパッド			－
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)			+30dBu (PAD in)			－
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)			>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)			－
		マイク等価入力ノイズ	－127dB (150Ω ソース)			－127dB (150Ω ソース)			－
	デジタル入力	AES3	2 (バランスXLR、110 Ω)			－			－
		サンプリングレート	32k～192kHz (バイパスオプション付き)			－			－
	アナログ出力	ライン出力	8 (バランスXLR)			32 (バランスXLR)	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)	－
		出力インピーダンス	<75Ω			<75Ω			－
		定格出力	+4dBu＝0dBの測定値			+4dBu＝0dBの測定値			－
		最大出力レベル	+22dBu			+22dBu			－
		残留出力ノイズ	－92dBu (ミュート20～20kHz) －90dBu (ミュート20～40kHz)			－92dBu (ミュート20～20kHz) －90dBu (ミュート20～40kHz)			－
		デジタル出力	AES3	3 (バランスXLR、110 Ω)			－		
サンプリングレート			96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能			－			－
接続端子		GigaACE		2			2		
	DX Link		2			4			
	オプションカードスロット		2			3			
	ME接続専用 48kHzポート		－			1			
	ネットワークポート		2×RJ45			2×RJ45			
	ワードクロックI/O		2×BNC			2×BNC			
	USB-A		3			－			
	外部ディスプレイ		1×VGA			－			
	ヘッドホン出力		－			1			
システム XLR入力～ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ		110dB			110dB			－
	S/N		－92dB			－92dB			－
	周波数レスポンス		20Hz～30kHz +0/－0.8dB			20Hz～30kHz +0/－0.8dB			－
	THD+N (アナログ入力から出力)		0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン			0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン			－
	ヘッドルーム		+18dB			+18dB			－
	内部動作レベル		0dBu			0dBu			－
	dBFS アライメント		+18dBu＝0dBFS (+22dBu @XLR出力)			+18dBu＝0dBFS (+22dBu @XLR出力)			+18dBu＝ 0dBFS
	メーターキャリブレーション		0dB メーター＝－18dBFS (+4dBu@XLR出力)			0dB メーター＝－18dBFS (+4dBu @XLR出力)			0dB meter＝ －18dBFS
	メーターピークインジケーション		－3dBFS (+19dBu @XL出力)			－3dBFS (+19dBu @XL出力)			－3dBFS
	サンプリングレート		96kHz +/- 20PPM			96kHz +/- 20PPM			
	AD/DA コンバーター		24－bit Delta－Sigma			24－bit Delta－Sigma			
	レイテンシー		0.7 ms (MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～Mixrack (GigaACE) +8サンプル、DX32～Mixrack (DX Link)			0.7 ms (MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～Mixrack (GigaACE) +8サンプル、DX32～Mixrack (DX Link)			－
電源			1 (100V AC、50/60Hz) ※リダンダントPSUIはオプション						2 (100V AC、 50/60Hz.)
消費電力			最大300W (MPS16 V1 300W) * 最大250W (MPS16 V2 250W) * ※AC電源アダプターに消費電力を記載						最大90W (各電源)
寸法 (W×H×D)			1325×413× 728mm	1115×413× 728mm	870×413× 728mm	482.6×458× 313mm、10U	482.6×369× 313mm、8U	482.6×325× 313mm、7U	482.6×176× 355mm、4U
質量			約41kg	約35kg	約28kg	約21kg	約17.5kg	約15kg	約12kg

dLive C Class

			dLive C3500	dLive C2500	dLive C1500	dLive CTi1500	dLive CDM64	dLive CDM48	dLive CDM32	
入出力性能	フェーダー数		24	20	12	12	－			
	ディスプレイ数		2	1	1	1	－			
	入力チャンネル		－				128			
	バス		－				64 (グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)			
	内蔵エフェクター		－				16			
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	6 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)				64	48	32	
		入力感度	－60 ～ +15dBu				－60 ～ +15dBu			
		アナログゲイン	+5 ～ +60dB、1dBステップ				+5 ～ +60dB、1dBステップ			
		パッド	－20dB アクティブパッド				－20dB アクティブパッド			
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)				+30dBu (PAD in)			
		入力カインピーダンス	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)				>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)			
		マイク等価入力ノイズ	－127dB (150Ω ソース)				－127dB (150Ω ソース)			
		デジタル入力	AES3	1 (バランスXLR、110 Ω)				－		
	サンプリングレート		32k～192kHz (バイパスオプション付き)				－			
	アナログ出力	ライン出力	6 (バランスXLR)				32 (バランスXLR)	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)	
		出力カインピーダンス	<75Ω				<75Ω			
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値				+4dBu=0dBの測定値			
		最大出力レベル	+22dBu				+22dBu			
		残留出力ノイズ	－92dBu (ミュート20～20kHz) －90dBu (ミュート20～40kHz)				－92dBu (ミュート20～20kHz) －90dBu (ミュート20～40kHz)			
		デジタル出力	AES3	1 (バランスXLR、110 Ω)				－		
			サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能				－		
		接続端子	GigaACE		1				1	
	DX Link		1				2			
	オプションカードスロット		1				1			
ME接続専用 48kHzポート			－				1			
ネットワークポート			2×RJ45				2×RJ45			
ワードクロックI/O			1×BNC				1×BNC			
USB-A			2×USB－A				－			
外部ディスプレイ			1×VGA				－			
ヘッドホン出力			－				1			
システム XLR入力～ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ		110dB				110dB			
	S/N		－92dB				－92dB			
	周波数レスポンス		20Hz～30kHz +0/－0.8dB				20Hz～30kHz +0/－0.8dB			
	THD+N (アナログ入力から出力)		0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン				0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン			
	ヘッドルーム		+18dB				+18dB			
	内部動作レベル		0dBu				0dBu			
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)				+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)			
	メーターキャリブレーション		0dB メーター＝－18dBFS (+4dBu@XLR出力)				0dB メーター＝－18dBFS (+4dBu@XLR出力)			
	メーターピークインジケーション		－3dBFS (+19dBu @XL出力)				－3dBFS (+19dBu @XL出力)			
	サンプリングレート		96kHz +/- 20 PPM				96kHz +/- 20 PPM			
	AD/DA コンバーター		24－bit Delta－Sigma				24－bit Delta－Sigma			
レイテンシー		0.7 ms (MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～Mixrack (GigaACE) +8サンプル、DX32～Mixrack (DX Link)				0.7 ms (MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～Mixrack (GigaACE) +8サンプル、DX32～Mixrack (DX Link)				
電源			1 (100V AC、50/60Hz)				1 (100V AC、50/60Hz)			
消費電力			最大110W				最大175W			
寸法 (W×H×D)			885×325× 665mm	775×325× 665mm	485×325× 665mm	440×337× 644mm	481.6×354.5× 309mm、8U	481.6×310× 309mm、7U、	481.6×221× 309mm、5U	
質量			約28kg	約24.5kg	約18kg	約11.5kg	約13.5kg	約12kg	約10kg	

avantis

Avantis

			Avantis
入出力性能	フェーダー数		24
	ディスプレイ数		2
	入力チャンネル		64
	バス		42
	内蔵エフェクター		12
ローカルI/O	アナログ 入力	マイク/ライン 入力	12 (バランスXLR、+48V ファンタム電源)
		入力感度	-60 ~ +15dBu
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、 1dBステップ
		パッド	-20dB アクティブパッド
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)
		入力 インピーダンス	>4k Ω (Pad out)、 >10k Ω (Pad in)
		マイク 等価入力ノイズ	-127dB (150 Ω ソース)
	デジタル 入力	AES3	1 (バランスXLR、110 Ω)
		サンプリング レート	32k~192kHz (バイパスオプション付き)
	アナログ 出力	ライン出力	12 (バランスXLR)
		出力 インピーダンス	<75 Ω
		定格出力	+4dBu =0dBの測定値
		最大出力レベル	+22dBu
		残留出力ノイズ	-95dBu (ミュート20~22kHz) -90dBu (ミュート0~80kHz)
		デジタル 出力	AES3
	サンプリング レート		96kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能
接続端子	SLink		1
	オプションカードスロット		2
	ネットワークポート		2×RJ45
	ワードクロックI/O		1×BNC
	USB-A		1
システム XLR入力~ XLR出力 20-40kHz ミニマム ゲイン パッドなし	ダイナミックレンジ		109dB
	S/N		-92dB
	周波数レスポンス		20Hz~30kHz +0/-0.8dB
	THD+N (アナログ入力から出力)		0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dB ゲイン
	ヘッドルーム		+18dB
	内部動作レベル		0dBu
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)
	メーター キャリブレーション		0dBメーター= -18dBFS (+4dBu@XLR出力)
	メーターピーク インジケーション		-3dBFS (+19dBu @XLR出力)
	サンプリングレート		96kHz
電源			1 (100V AC、50/60Hz)
消費電力			最大150W
寸法 (W×H×D)			917×269×627mm
質量			約26kg

SQ

SQ

			SQ-7	SQ-6	SQ-5	
入出力性能	フェーダー数		32+1	24+1	16+1	
	ディスプレイ数		1			
	入力チャンネル		48			
	バス		36			
	内蔵エフェクター		8			
ローカルI/O	アナログ 入力	マイク/ライン 入力	32	24	16	
		入力感度	-60～+0dBu			
		アナログゲイン	0dB ～ +60dB、1dBステップ			
		パッド	-20dB 切替パッド			
		最大入力レベル	+30dBu			
		入力 インピーダンス	>5kΩ			
		THD+N (ユニティゲイ ン0dB)	0.002% -92dBu (20Hz～20kHz、AES ダイレクトアウト、 @0dBu 1kHz)			
		THD+N (Midゲイン +30dB)	0.003% -91dBu (20Hz～20kHz、AES ダイレクトアウト、 @-30dBu 入力 1kHz)			
		ライン入力	3			
		ST1、ST2	バランス1/4" TRS			
		ST3	アンバランス3.5mmミニSTフォーンジャック			
		入力感度	ST1、ST2 :+4dBu、ST3:0dBu			
	トリム	+/-24dB				
	最大入力レベル	ST1、ST2 :+22dBu、ST3:+18dBu				
	入力 インピーダンス	>7kΩ				
	アナログ 出力	ライン出力	16+2 (XLR×16、 バランスTRS×2)	14+2 (XLR×14、 バランスTRS×2)	12+2 (XLR×12、 バランスTRS×2)	
		出力 インピーダンス	<75Ω			
		定格出力	+4dBu=0dB の測定値			
		最大出力レベル	+22dBu			
		残留出力ノイズ	-90dBu (ミュート20Hz～20kHz)			
		デジタル 出力	AES3	1 (バランスXLR、110 Ω)		
	サンプリング レート		96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能			
	接続端子	SLink		1×RJ45		
		オプションカードスロット		1		
		ネットワークポート		1×RJ45		
USB		2USB (USB-A表面、USB-B背面)				
システム XLR入力～ XLR出力、 0dBゲイン、 0dBu入力	ダイナミックレンジ		112dB			
	周波数レスポンス		+0/-0.5dB 20Hz～20kHz			
	THD+N (Mic/Lineから メインL/R出力)		ユニティゲイン・フェーダー@0dB、0.006%、-84dBu (20～20kHz)			
	ヘッドルーム		+18dB			
	内部動作レベル		0dBu			
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)			
	メーター キャリブレーション		0dB meter=-18dBFS (+4dBu @XLR出力)			
	ピークインジケーション		-3dBFS (+19dBu @XLR out)、マルチポイントセンシング			
	サンプリングレート		96kHz			
	AD/DA コンバーター		XCVIコアのカスタムビット深度(最大96bits)			
	レイテンシー		<0.7mS、ローカルマイク入力～メインL/R			
	電源			100V AC、50/60Hz		
消費電力			110W	90W	75W	
寸法(W×H×D)			804×198× 514.9mm	638×198× 514.9mm	440×198× 514.9mm	
質量			約17.8kg	約14.5kg	約10.5kg	



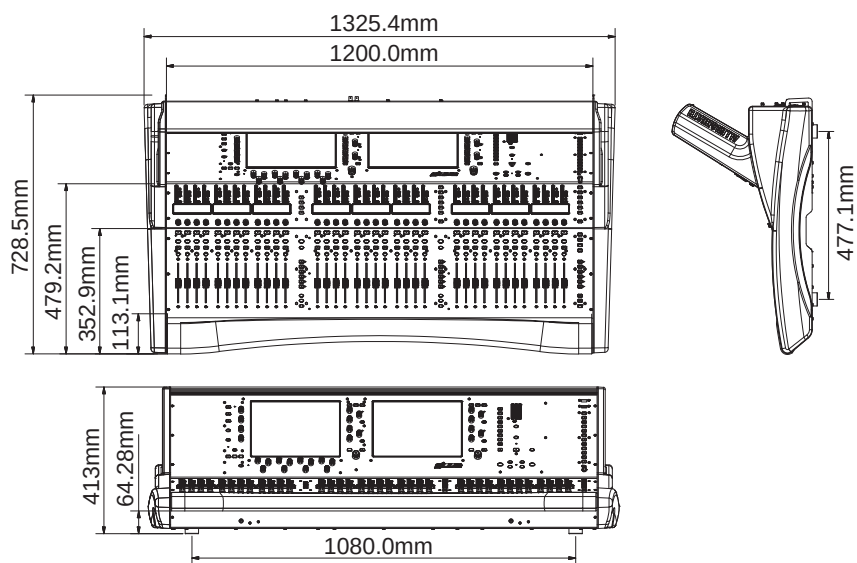
I/O Expander

			GX4816	DX32	DX012	DX168	DX164-W	AR2412	AB168	AR84	DT168	DT164-W	
入力	アナログ 入力	マイク/ライン 入力	48 (バランス XLR、 +48Vファン タム電源)	★最大32 (バランス XLR、 +48Vファン タム電源)	—	16 (バランスXLR、 +48Vファンタム電源)		24 (バランス XLR)	16 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	16 (バランスXLR、 +48Vファンタム電源)		
		入力感度	-60～+15dBu			—	-60～+15dBu		-60～+15dBu			-60～+15dBu	
		アナログゲイン	+5～+60dB、1dBステップ			—	+5～+60dB、1dBステップ		+5～+60dB、1dBステップ			+5～+60dB、1dBステップ	
		パッド	-20dBアクティブパッド			—	-20dBアクティブパッド		-20dB			-20dBアクティブパッド	
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)			—	+30dBu (PAD in)		+30dBu	+32dBu		+30dBu (PAD in)	
		入力 インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)			—	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)			>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)	
		マイク 等価入力ノイズ	-127dB (150Ω ソース)			—	-127dB (150Ω ソース)		-127dB (150Ω ソース)			-127dB (150Ω ソース)	
	デジタル 入力	AES3	—	★最大32 (バランス XLR、110 Ω)	—	—	—	—	—	—	—		
		サンプリング レート	—	32k～ 192kHz (バイパスオ プション付き)	—	—	—	—	—	—	—		
	出力	アナログ 出力	ライン出力	16 (バランス XLR)	★最大32 (バランス XLR)	最大12 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)	12 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)
出力 インピーダンス			<75Ω			<60Ω	<75Ω		<75Ω			<75Ω	
定格出力			+4dBu=0dBの測定値			+4dBu=0dBの測定値	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値			+4dBu=0dBの測定値	
最大出力レベル			+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu		
残留出力ノイズ			-95dBu (ミュート、 20Hz～ 22kHz)	-92dBu (ミュート、 20Hz～ 20kHz)	-95dBu (22Hz～ 22kHz)	-92dBu (ミュート、20Hz～20kHz)		(≒91dBu、 20Hz～ 20kHz)	-91dBu (ミュート、20Hz～20kHz)		-92dBu (ミュート、20Hz～20kHz)		
デジタル 出力		AES3	—	★最大32 (バランス XLR、110 Ω)	最大8 (バランス XLR、110 Ω)	—		—	—		—		
		サンプリング レート	—	96kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能	96kHz、 88.2kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能	—		—	—		—		
接続端子		GX Link		1	—	—	—		—	—		—	
	DX Link		2	2	2	2		—	—		—		
	ME/dSnake		—	—	—	—		3	2		—		
	dante		—	—	—	—		—	—		2		
	オプションカードスロット		—	4	—	—		—	—		—		
電源			1 (100V AC、 50/60Hz)	1 (100V AC、 50/60Hz) ※リダンダン トPSUIは オプション	1 (100V AC、 50/60Hz)	1 (100V AC、 50/60Hz)		1 (100V AC、 50/60Hz)			1 (100V AC、 50/60Hz)		
消費電力			最大90W	最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※AC電源アダ プターに消費 電力を記載	最大35W	最大35W	最大35W	最大70W	最大40W	最大20W	最大40W	最大35W	
寸法 (W×H×D)			481.6× 221.5× 255mm、5U (脚含むH: 229.5mm)	433×177× 290mm、 4U	482.6× 48.2× 214.7mm、 1U	416.55× 182.1× 189mm	210×210× 87mm	482.6× 132.5× 219.4mm、 3U (足含むH: 136.7mm)	416.55× 182.1× 189mm	482.6×44 ×217.8mm、 1U (脚含むH: 48.2mm)	416.55× 182.1× 189mm	210×210× 87mm	
質量			約8kg	約10.5kg	約2.95kg	約4.6kg	約3.2kg	約5kg	約4.8kg	約3kg	約4.6kg	約3.2kg	

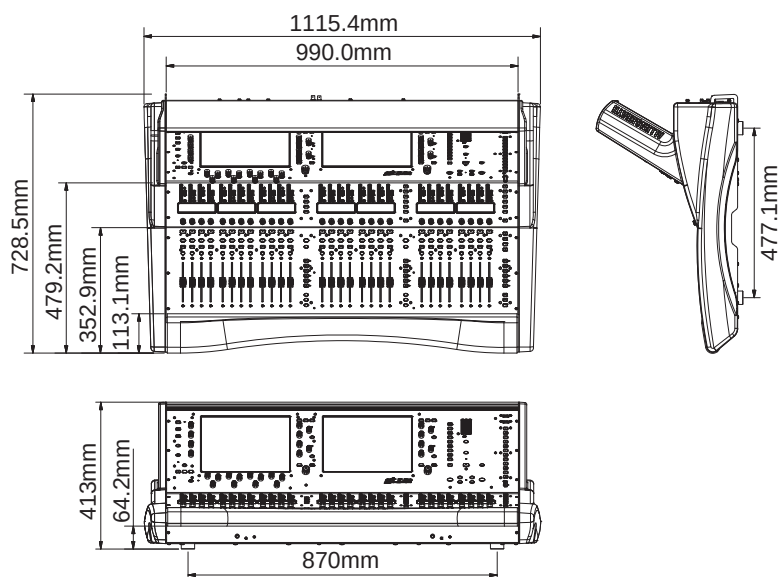
★モジュールの選択により構成が異なります。最大4モジュール(1モジュールあたり8ch)でアナログ入力、アナログ出力、AES3各種入出力の合計が32ch(8ch単位)となります。(詳細→p.21)

dLive S Class

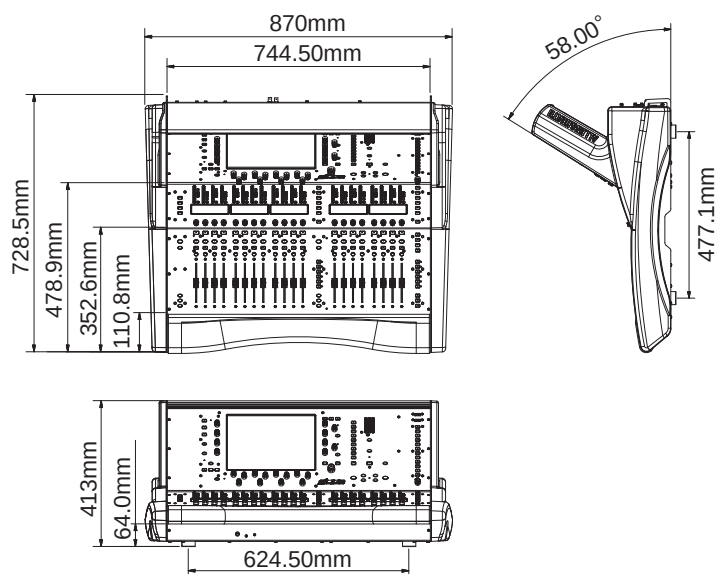
S7000 W1325.4×H413×D728.5mm、41kg



S5000 W1115.4×H413×D728.5mm、35kg

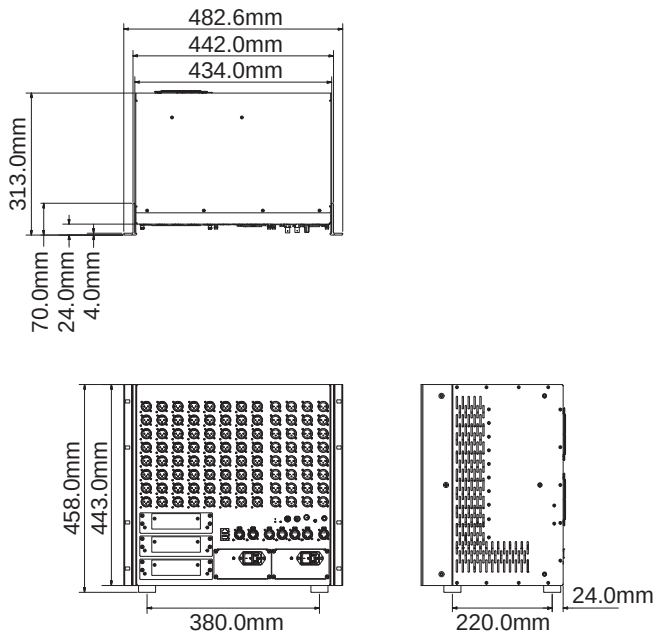


S3000 W870×H413×D728.5mm、28kg



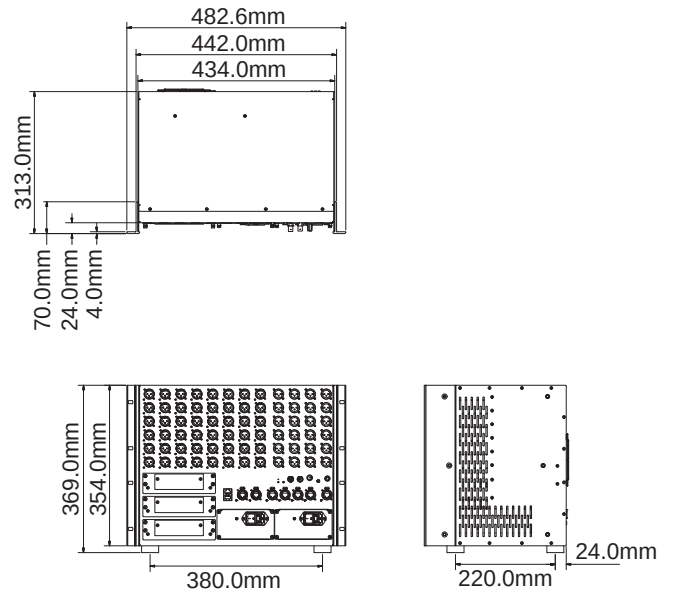
DM64 W482.6×H458×D313mm、21kg

10U



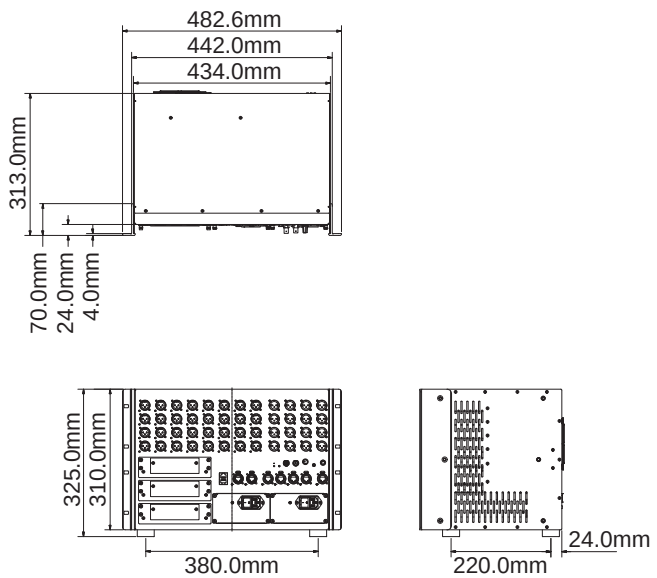
DM48 W482.6×H369×D313mm、17.5kg

8U



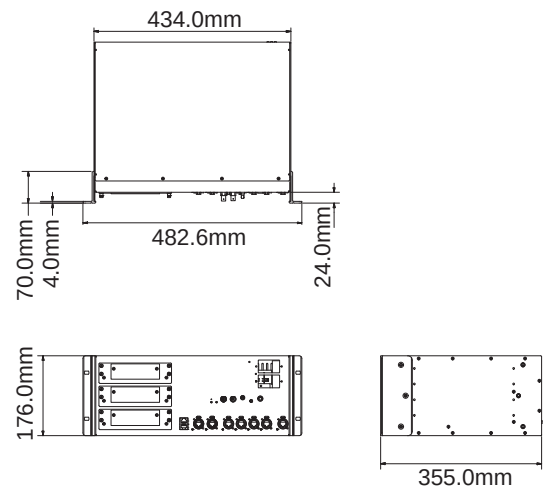
DM32 W482.6×H325×D313mm、15kg

7U



DM0 W482.6×H176×D355mm、12kg

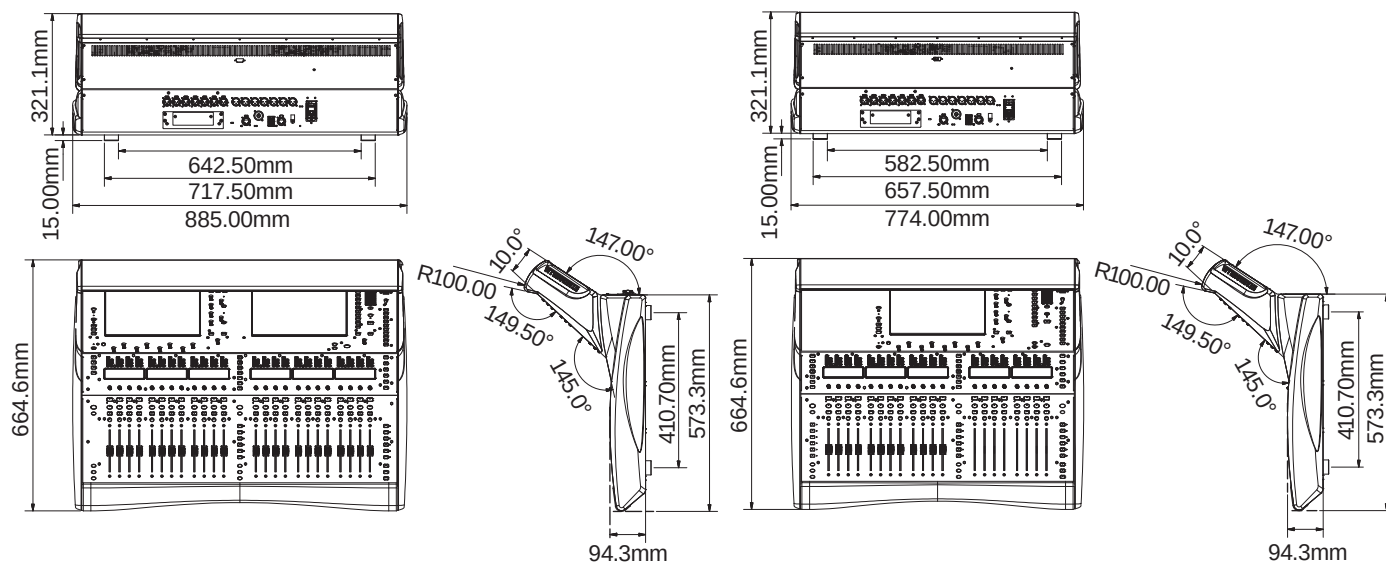
4U



dLive C Class

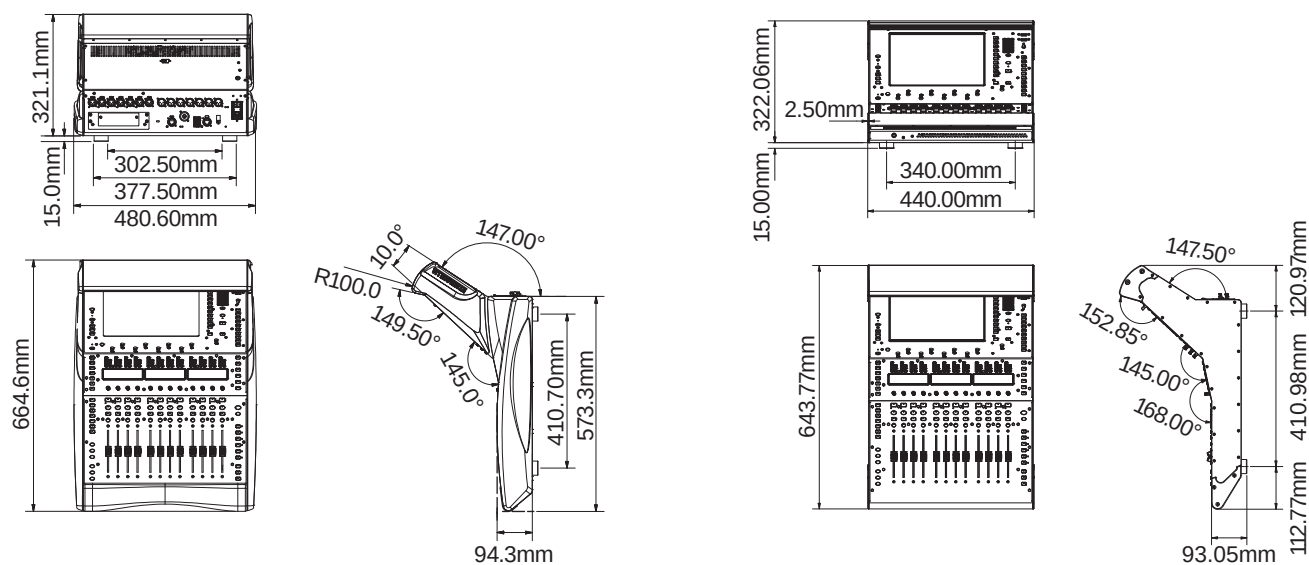
C3500 W885×H325×D665mm, 28kg

C2500 W775×H325×D665mm, 24.5kg

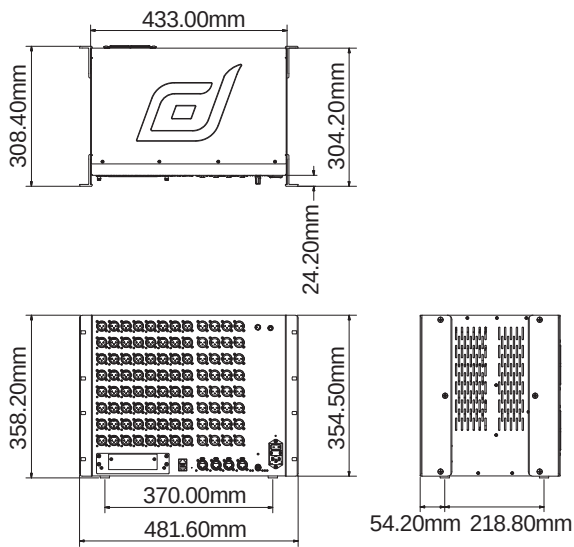


C1500 W485×H325×D665mm, 18kg

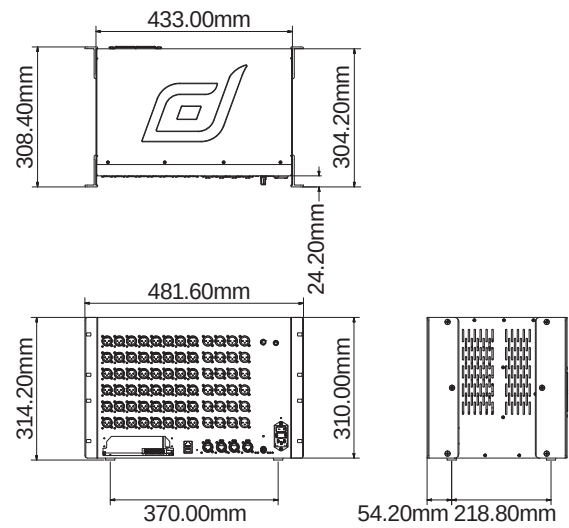
CTi1500 W440×H337×D644mm, 11.5kg



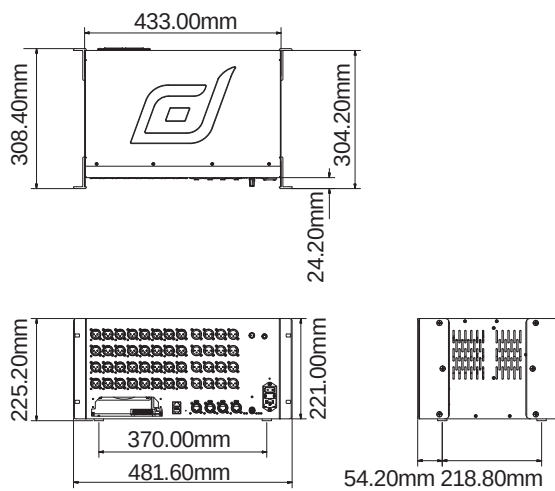
8U



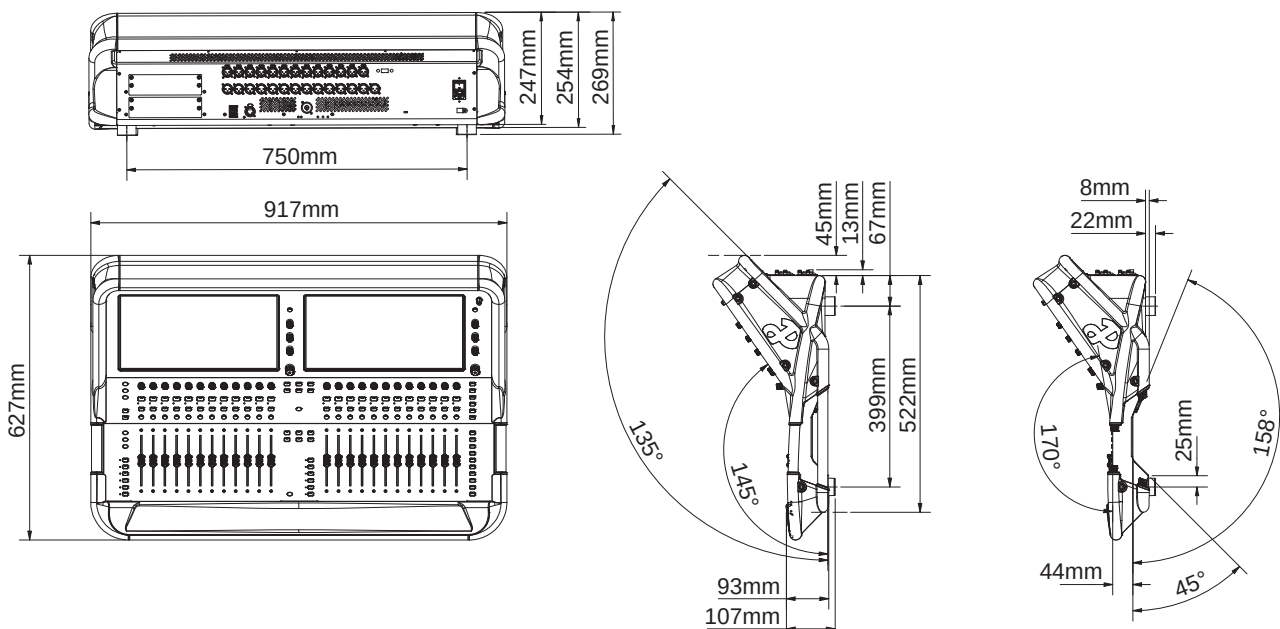
7U



5U

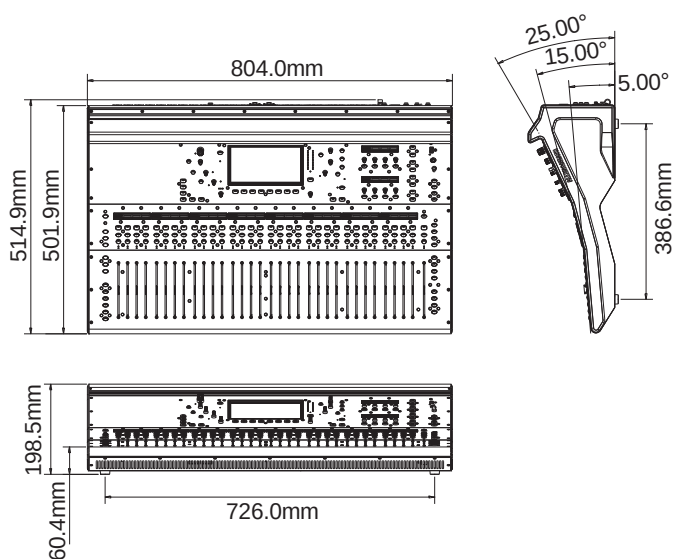


W917×H269×D627mm、26kg

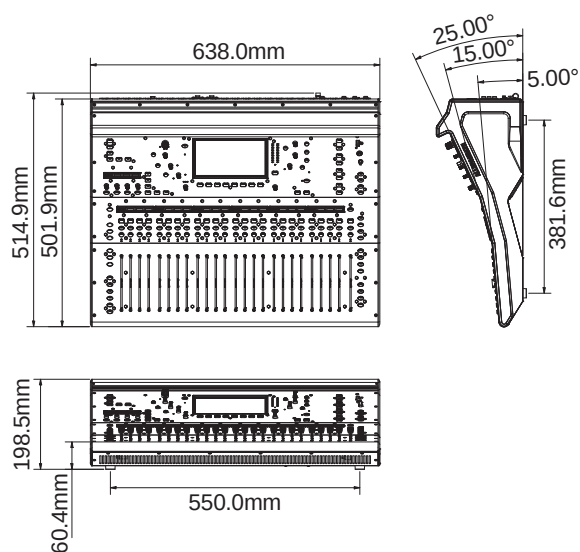


SQ Series

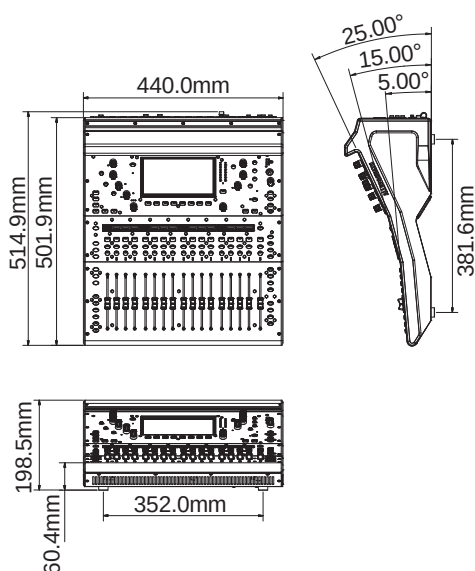
SQ-7 W804×H198.5×D514.9mm、17.8kg



SQ-6 W638×H198.5×D514.9mm、14.5kg



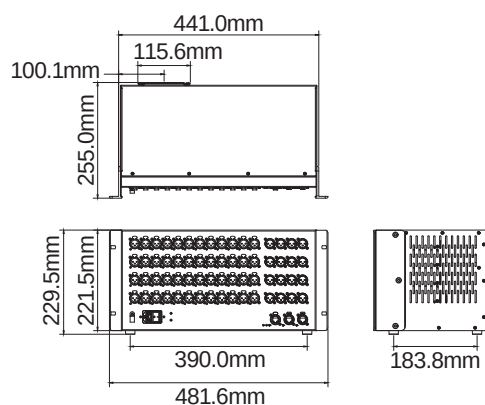
SQ-5 W440×H198.5×D514.9mm、10.5kg



I/O 拡張ラック

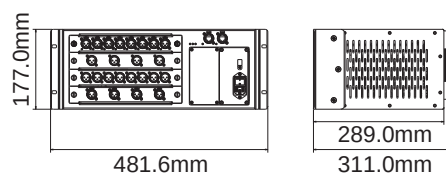
GX4816 W481.6×H229.5×D255mm、8kg

5U



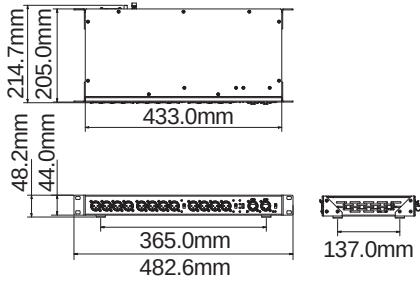
DX32 W481.6×H177×D289mm、10.5kg

4U



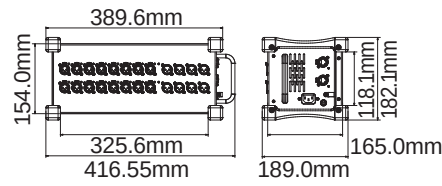
DX012 W482.6×H48.2×D214.7mm、2.95kg

1U

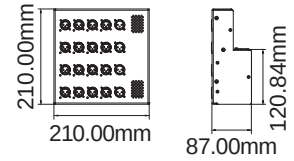


DX168/DT168/AB168

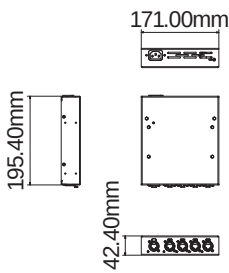
W416.6×H182.1×D189mm、4.6kg
(AB168:4.8kg)



DX164/DT164 W210×H210×D87mm、3.2kg

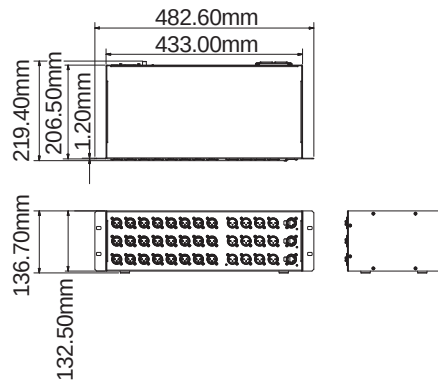


DX-HUB W171×H43×D203mm、1.2kg



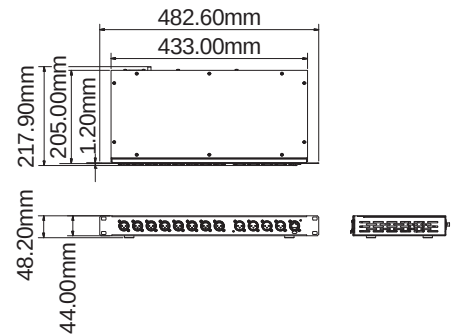
AR2412 W482.6×H136.7×D219.4mm、5kg

3U



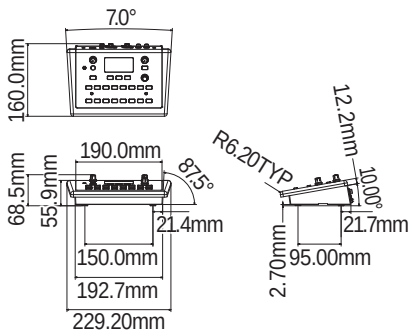
AR84 W482.6×H48.2×D217.8mm、3kg

1U

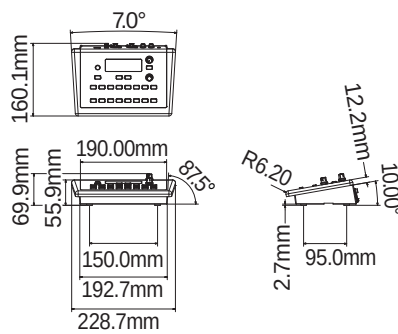


ME

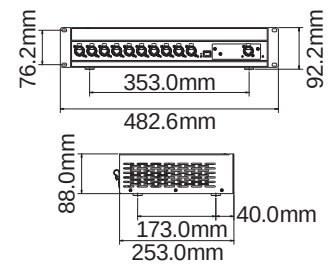
ME-1 W229.2×H68.5×D160mm、1.1kg



ME-500 W230×H70×D160mm、1.1kg



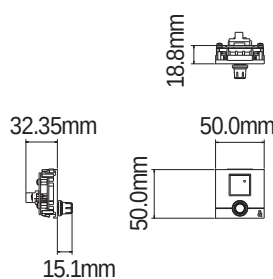
ME-U W482.6×H92.2×D253mm、4.6kg



IP

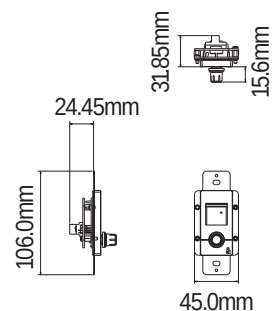
IP1-EU

W50×H50×D32mm、70g



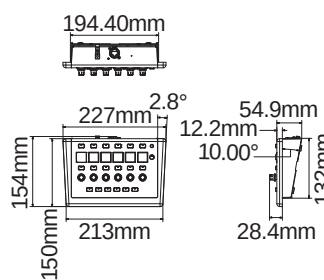
IP1-US

W45×H106×D25mm、100g



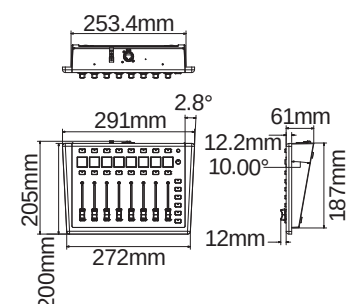
IP6

W227×H55×D154mm、1.5kg



IP8

W291×H61×D205mm、2.5kg



ALLEN&HEATH



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

<https://www.hibino-intersound.co.jp/>

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp

- 商品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 価格には、配送や設置、使用済み機器の引き取りに掛かる費用は含まれておりません。
- 商品写真は、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

